

令和元年十月一日発行（毎月一回）
書象 第六十七巻 第十号 通巻七六七号

書象



日本書道芸術協会
SHO JAPAN
設立1951年
代表理事 山本 浩二
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
電話 03-5561-1111
FAX 03-5561-1112
E-MAIL sho@sho-japan.org



日本書道芸術協会

2019-10

「新学習指導要領」全面実施を前にして 小学校における水書用筆等の導入

常任理事 荻田光山

太平洋戦争終結後の昭和二十年代は、それまでの日本の学校教育の全面見直しによる一大改革の時代でした。中でも書道教育は、小学校国語科の一部として硬筆のみを指導、毛筆は自由研究という扱いとなります。

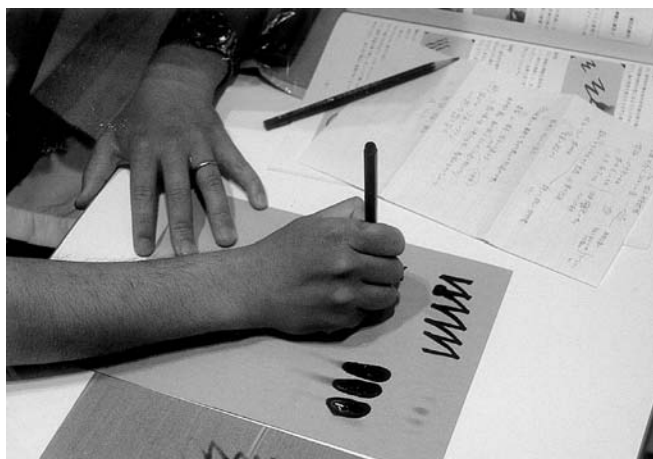
上條信山先生は、昭和二十四年に教育課程審議会委員となり、書道教育の充実を訴え続け、全身全霊を捧げます。その並々ならぬ努力の結果、昭和二十六年には、第四学年以上の段階で学校ごとに選択となり、毛筆習字が国語科の中に組み込まれることとなります。現行の小学校第三学年以上が必修となるのは、昭和四十三年になってからのことでした。

「学習指導要領」は、小学校、中学校、高等学校等ごとに目標や内容が定められています。国家の未来を担う児童生徒の指導指針となるわけですから、とても重要なものです。

さて、来年から順次全面実施となる学習指導要領の内容は、これまでにないスケールです。「道徳の教科化」「小学校英語、プログラミング教育の導入」などが大きく取り上げられますが、書写書道教育も見逃すことができません。それは、「水書用筆等の導入」(小学校一、二年)「文字文化の定義化・身近な文字を行書で書くこと」(中学校)「高等学校における中学校書写との接続」「我が国の伝統文化である書き初めへの言及」(小中共通)などです。

中でも、「水書用筆」を使用した運筆指導により、点画の始筆から送筆、終筆までの一連の動作を繰り返して練習し、弾力性のある筆記具によって生まれる上下(深淺)運動を体感することが、学習や日常生活において、硬筆を適切に運筆する習慣につながると示された意義は大変大きく、画期的なものです。

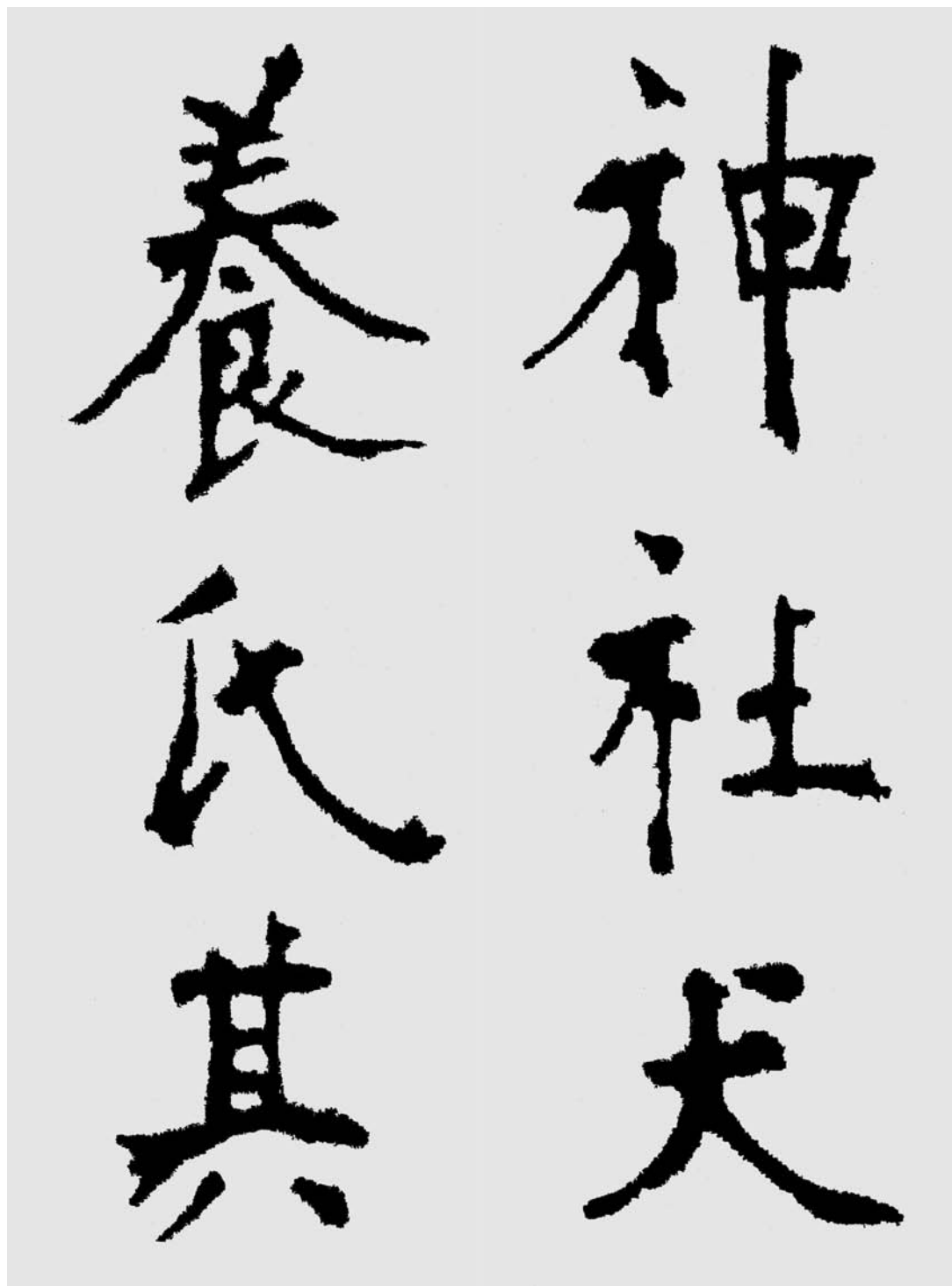
新しい用具の導入や研究は、上條先生もその発足に関わった全日本書写書道教育研究会の先行研究、本会会長の田中節山先生も実務委員である書写・書道教育推進協議会の活動も見逃せません。そして、この新しい方向性の今後は、学校現場の先生方の実践研究とその蓄積に委ねられていると共に、全国各地の書道教室で多くの児童生徒の指導に当たられている皆さんの後方支援がとても大切です。是非、地域の学校、先生方を応援してもらい、また各教室でも水書用筆を使用した指導の蓄積を図って、近い将来の書写書道教育に生かせる実践を報告していただきたいものです。



支部長講習会で水書きをする参加者

基本【基本】

宮島詠士先生書



神社犬養氏其

10月20日必着。入選作のみ発表します。出品券を貼付

行書臨書規定【臨規】（師範・準師範・段位）

集王聖教序

上條信山先生書

亦
明
畫
乃
亦
空
人

亦た無明の尽くことも無し。乃（至）

10月20日必着
出品券を貼付

・文字の大小長短、形の変化を意識して伸びやかに書きたい。また行の中心に気をつけて位置よくまとめたい。





・半紙の中心の位置を
意識して書く。

滅：サンスイを小さく
して、旁をゆった
りと書く。特に
「レ」を長くのび
のびと。

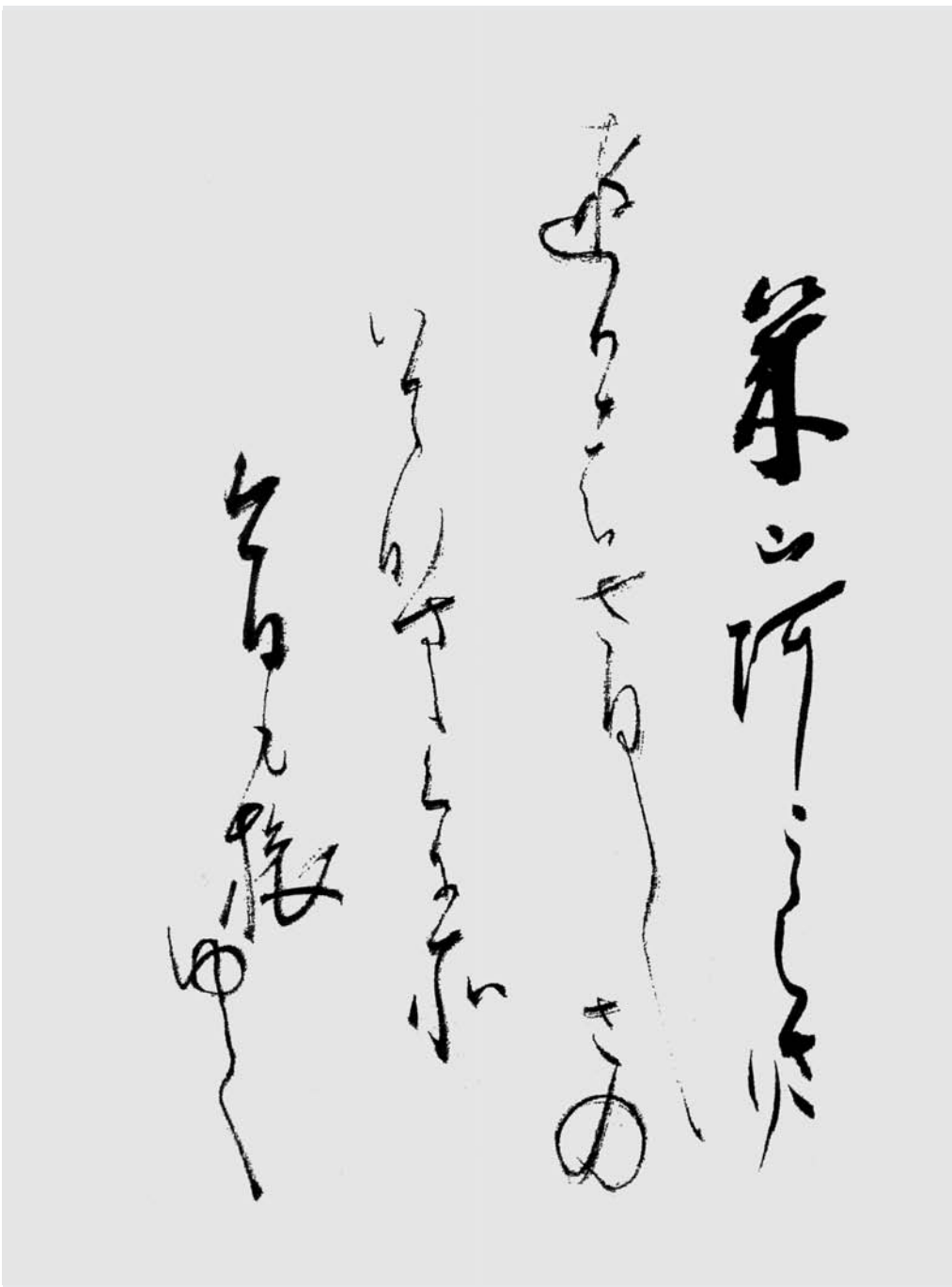


道：「目」の位置を右
側に寄せて、シン
ニョウと調和させ
る。



仮名規定【仮規】（師範・準師範・段位）

上條 信山 先生書

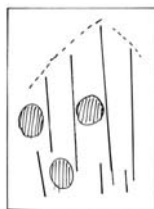


幾山河こえさりゆ(遊)か(可)ば(者)さび(日)しさの
は(八)てな(那)む(無)くに(尔)ぞ(所)今日も旅ゆく

(若山牧水歌)

10月20日必着
出品券を貼付

・行立ては左図による。
各行がゆるやかに右下に流れる。行頭の位置、空間にも注意したい。



・各行漢字がポイントとなる。

【幾】

【山河】

【遊】

【可(可)ば(者)】

【さび(日)】

【(無)】

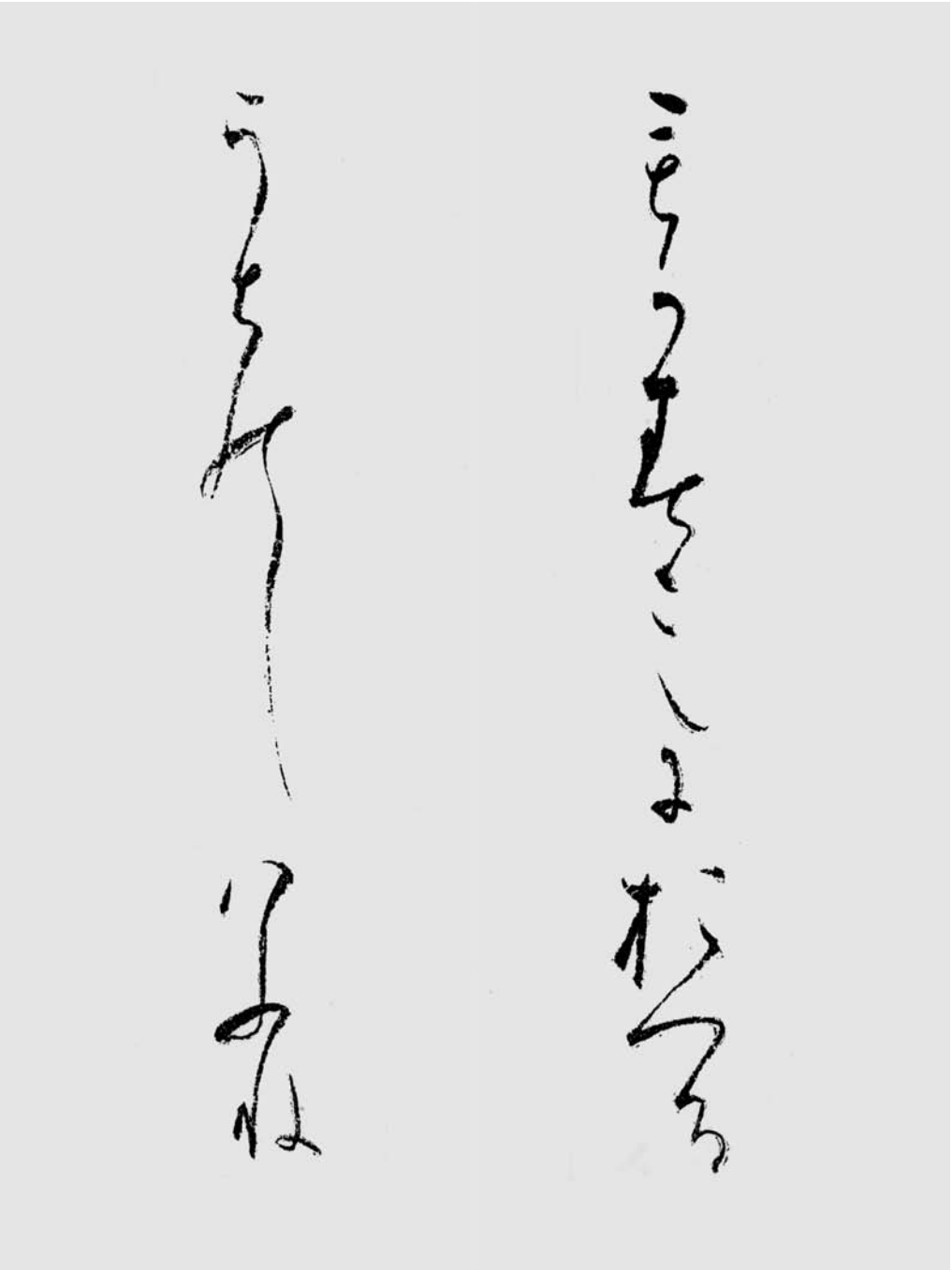
【(那)】

【旅】

【(八)】

仮名規定【仮規】（級位）

上條信山先生書



・行の中心を通し、筆を立てて軽快に書く。

「も（毛）か（可）す（春）」

しらねども

「お（於）つる」

おつる

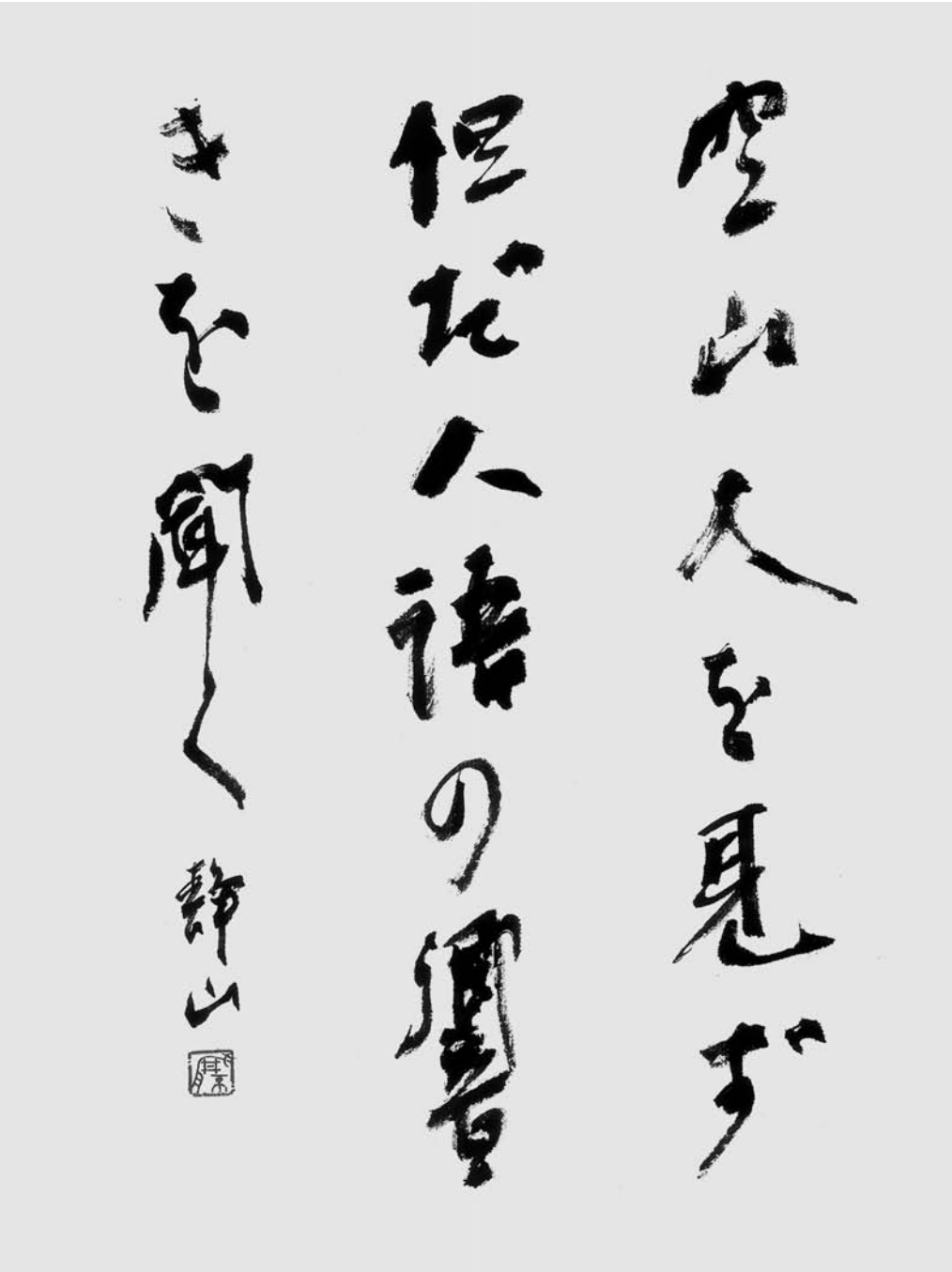
「の（能）し」

のし

「ば（八）ふね」

ばふね

の（能）し（八）ふね（寂連）
（…）し（ら）ね（ど）も（毛）か（可）す（春）み（三）に（尔）お（於）つる（う）ぢ



空山 人を見ず
但だ人語の響きを聞く（王維詩）

10月20日必着

出品券を貼付

入選作のみ発表します

・文字の大小長短を意識して書く。

・漢字は平仮名に調和させる為に、少し行意を入れて書くとうい。

・平仮名は細くならないように注意する。

・「響」「聞」はP14参照。



微風入松徑（微風松徑に入る）

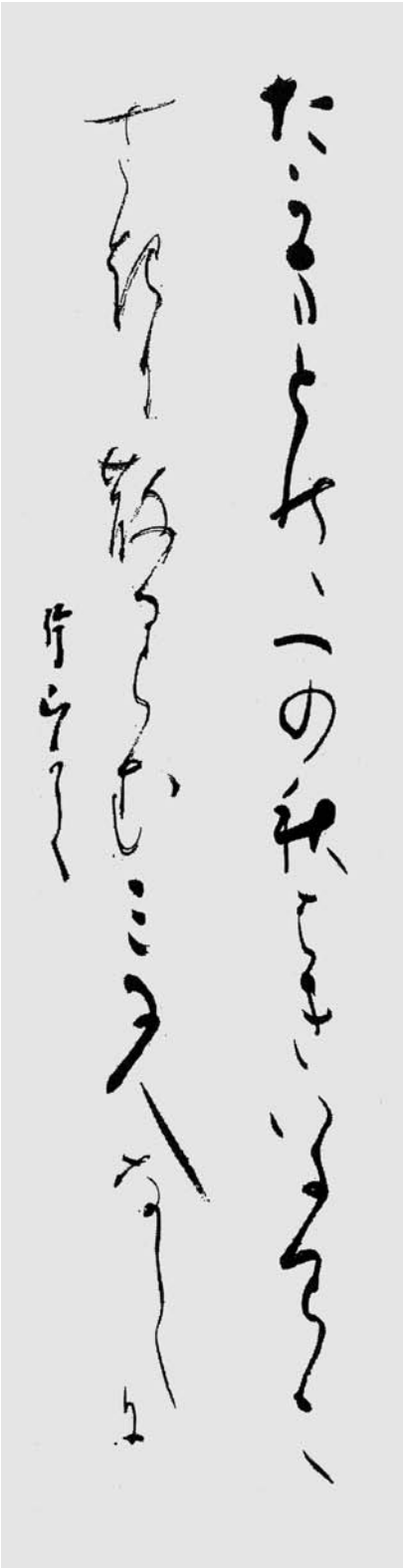
- ・「微」の縦画を太めに。
- ・「風」の風構（風の構え）を伸びやかに。
- ・「入」は小さめに。二画目はすっきりと。
- ・「松」の扁を大きめにしっかりと。
- ・「徑」の傍の三つの点をリズムカルに。

条幅随意【条随】

上條信山先生書

入選作のみ発表します

出品券を貼付



たか(可)ま(万)どの(能)の(と)べの秋は(者)ぎいた(多)づらに(二)さき(起)か(可)散るらむみ(三)る人なしに(尔) (万葉集)

- ・墨量豊かに書き出し、二三行目上部で渴筆をいかず。
- ・「み(三)る人」で少し墨をつけ、のびやかな線を心がける。
- ・「秋は(者)ぎ」「散るらむ」はP14参照。

の夢 来 来 へ

中学一年規定 【学毛】

柳澤玄嶽先生書

へ 秋 雲 空 白

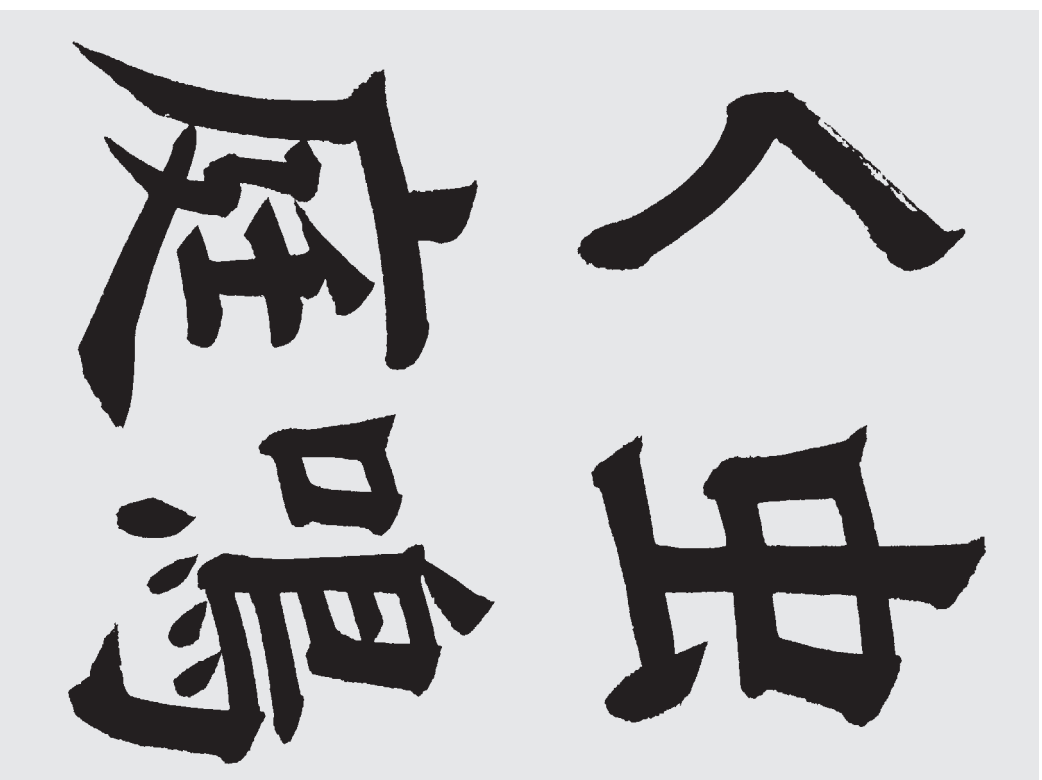
中学二・三年規定 【学毛】

田中節山先生書



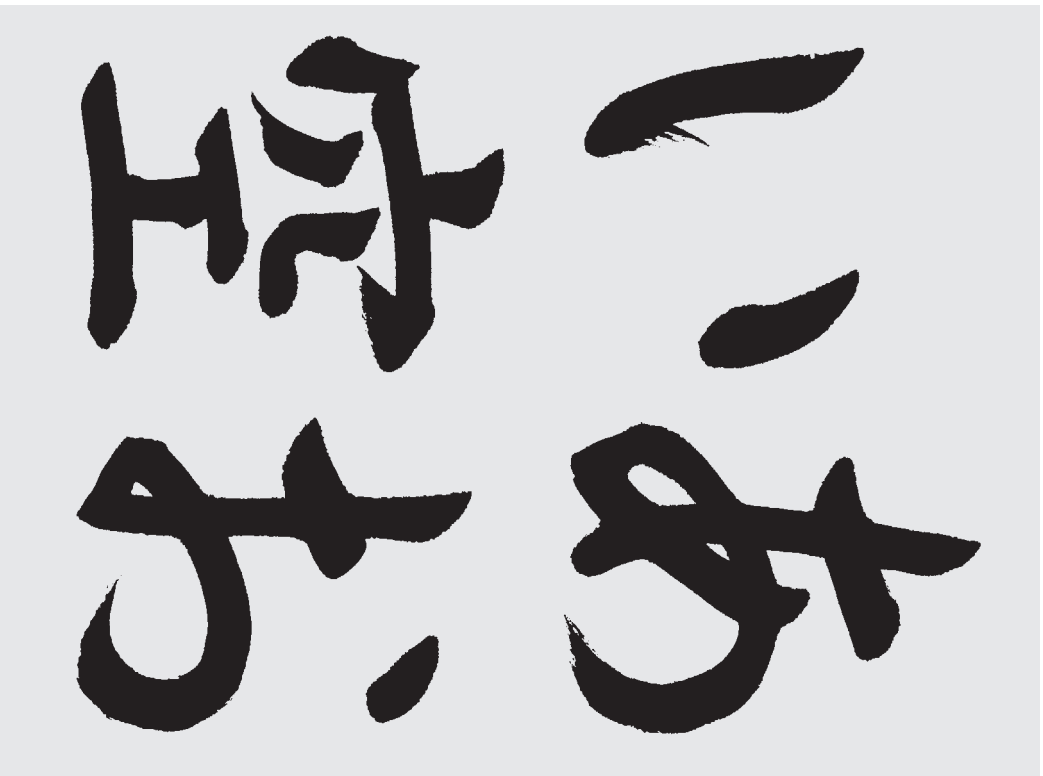
小学五年规定 【学毛】

山口啓山先生書



小学六年规定 【学毛】

宮本耕成先生書



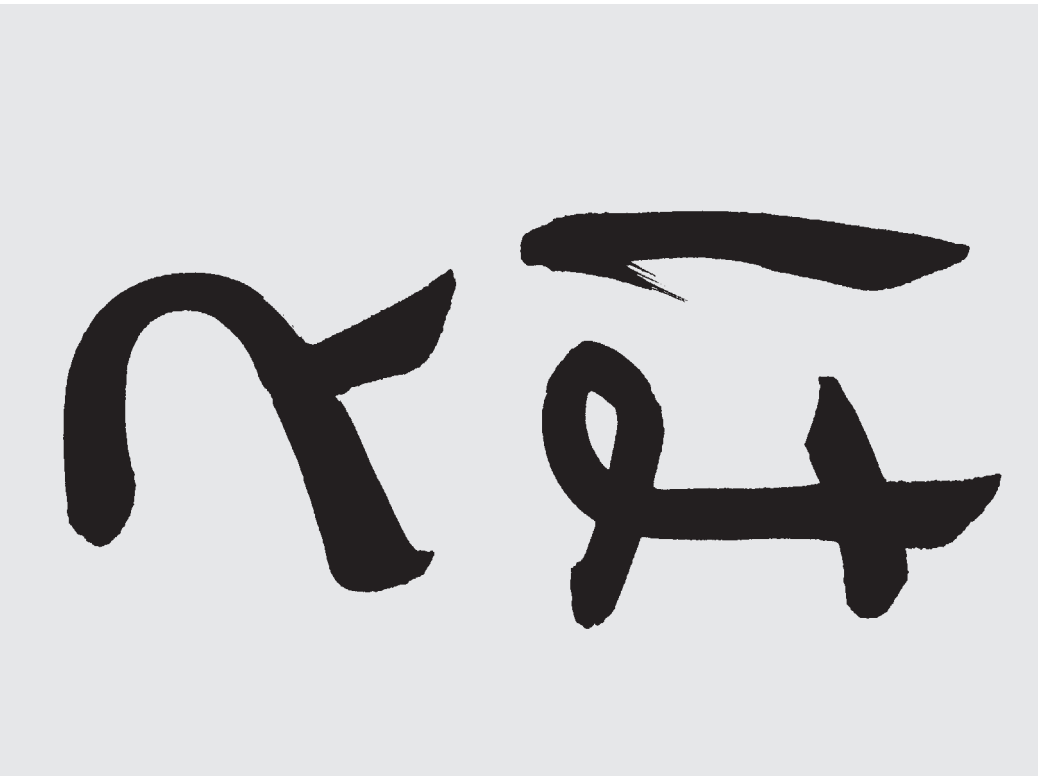
小学三年規定 【学毛】

藤森大節先生書



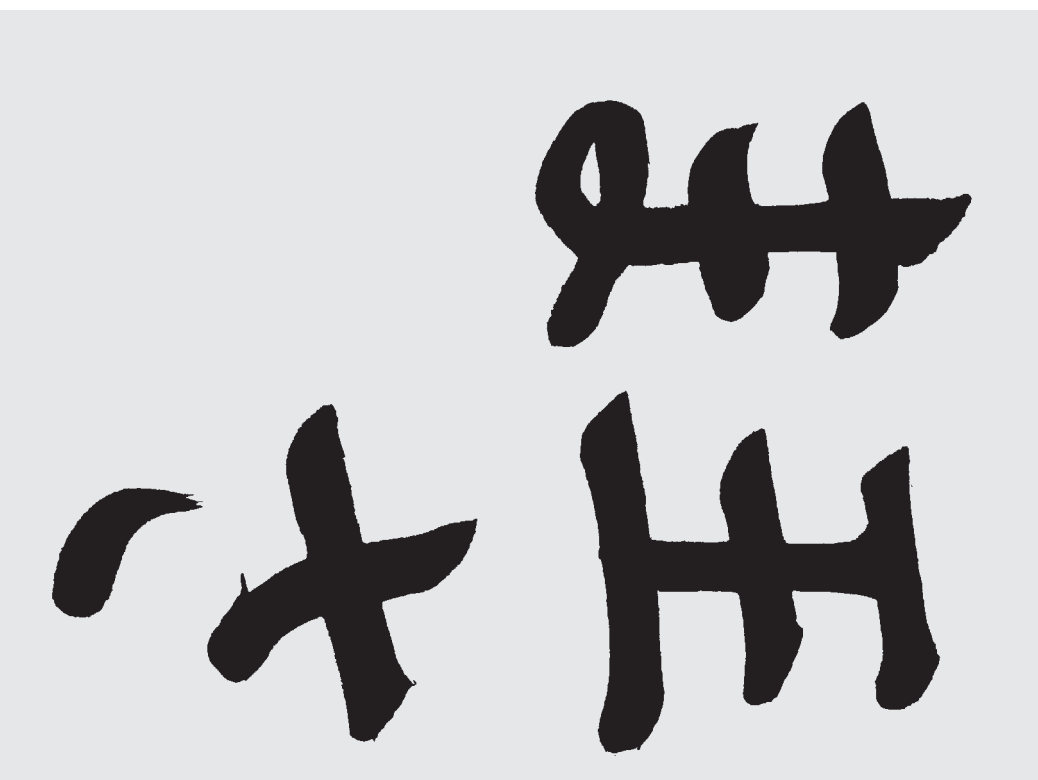
小学四年規定 【学毛】

小室墨汀先生書



小学一年規定 【学毛】

恩田静月先生書



小学二年規定 【学毛】

成瀬恵苑先生書

硬筆規定

一般規定【一硬】(師範・準師範・段位)

上條 信山 先生書

人にはそれぞれ性格があるように、文字にもまた個性があります(春)、美しい上手な文字を習う事によって美しい自己を作ろう。

人にはそれぞれ、性格があるように、文字にもまた個性があります。また、個性がありまわ、美しい上手な文字を習う事によりて美しい自己を作ろう。

一般規定【一硬】(級位)

二瓶 嶽風 先生書

ぞくぞくした。この永続する不安定感
は探検がうまくいっている証拠なので
ある。角幡唯介のことば

中学規定【学硬】

畑 中高山 先生書

自分の意見を述べる時には、
内容を簡潔にまとめ、大きな
声で話をしよう。

小・中学生随意課題【学随】

左の字句を半紙に書いてください。

表現自由。入選作のみ発表します。出品券を貼付して下さい。

小 一・二年 学	力	小 三・四年 学	家
小 五・六年 学	仕事	中 学	發揮

手本解説

・研究「響」「聞」は左図参照。

響 聞

・硬筆一般規定(師範)「す(春)」「習」「事」は左図参照。

す 習 事

・仮名称幅随「秋は(者)ぎ」「散るらむ」は左図参照。

秋は(者)ぎ 散るらむ

学生部規定



中学二・三年



中学一年

「秋」は左右の払いの長短・角度に注意する。「空」の五画目は丸みを持たせながら方向を変える。「白」の左右の縦画はやや内側に向ける。「雲」は雨冠を最大幅にし、「云」は扁平かつ小さめにする。

「未」の縦画は横画の中央に書く。「来」は左右の払いを伸びやかに。「へ」の終筆は始筆の位置より下がる。「の」は・で筆先を整えゆったりと払う。「夢」は横画の角度を統一し左払いを伸びやかに。

小学五・六年規定【学硬】

荻田光山先生書

秋の社会科見学で、地元の公
共美術館に行き、すばらしい
絵画に感動した。

名前

支部 年

級段

小学三・四年規定【学硬】

露崎玄峯先生書

トノサマバツタは、体の
色がぼご色になる場所に
すんでいます。

名前

支部 年

級段

小学一・二年規定【学硬】

大島岐山先生書

ら	の	雨
わ	大	が
れ	き	や
た	な	む
	に	と
	じ	七
	が	い
	あ	ろ

なまえ
支部 年
だん
きゆう

※出品券を貼付
して下さい。

一般（師範・準師範・段位）・一般（級位）・中学生はペン使用の
こと（中学生は鉛筆も可）。小学生は鉛筆使用のこと。
作品の大きさを下りたて18cmよこ7cm小一・二課題↓2.1cmのマス目
の紙を使用する。小三・四・五・六課題↓2.1cm巾の罫線を引く。



小学六年

「虫」は中心を意識し五画目の方向に注意する。「鳴」は口を小さくし上下をあける。「く」は中心の右から書き始め縦長の字形に。「庭」は二本の左払いの方向に注意し、空間が狭くならないように。



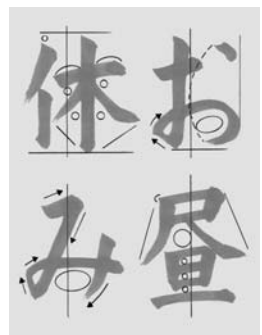
小学四年

「実」の七画目は二本の横画と交わるまでは垂直に。「り」は縦画の位置・角度に気をつける。「の」は中心線から書き始める。「秋」は左右の払いの長短・角度に注意し、八画目は垂直部を長く書く。



小学二年

「王」は二本の横画の長短・間隔に注意する。「ま」は二・三画目の筆脈を意識する。「ま」の縦画は横画の中心あたりから書き、結びは穂先を整えてまとめる。



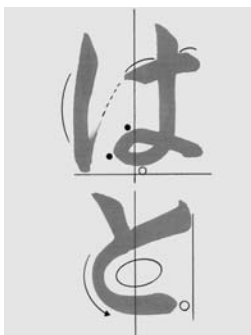
小学五年

「お」は二画目の払いから点への筆脈に気をつける。「昼」は左右の払いをのびのびと書く。「休」の木部縦画は横画の中央で交わる。「み」は右上がり書き始め、折れの後を方向に注意し長く書く。



小学三年

「あ」の一画目は右上がり。三角目は運筆にメリハリをつける。「お」の二画目は結びの後を右上がり大きく回る。「い」の向かい合う線はやや丸みを。「空」は冠を最大幅にし、最終画でバランスをとる。



小学一年

「は」の一画目は左にややくらみを持たせ、結びは横広にまとめる。「と」の二画目の曲がりは手首を回さずに腕全体を動かして書く。

古典研究シリーズ ④36 【古典】

曹そう全ぜん碑ひ

後漢・中平二年（一八五年）

今月のテーマ

写実的臨書

小字（十五字以上）：一回目

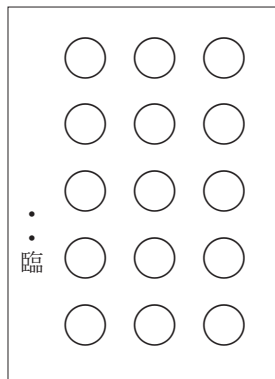


或居隴西。或家敦煌。枝分葉布。所在爲雄。君高祖父敏。舉孝廉。武威長史巴郡胸忍張掖

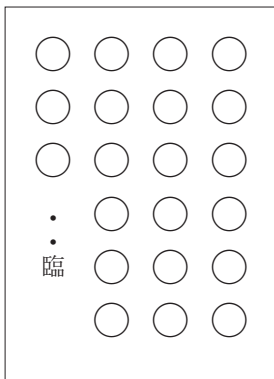
書き方

- ① 文字数は十五字以上。左記の中より選んで書いて下さい。
- ② 落款を入れて下さい。
- ③ 作品の表左下に、支部名と氏名、又は号を鉛筆で記入して下さい。古典研究の出品券を貼付して下さい。（編集部）

〈作品イメージ〉参考にして下さい。



3 行例



4 行例

松本市美術館便り

上條信山記念展示室 令和元年十月一日(火)〜令和二年二月二日(日)

作品たちの晴れ舞台②

松本市美術館は、2002年4月にオープンし、17年が経ちました。その間、記念展示室ではさまざまなテーマで年3回程度の展示替えを行い、その数は約50回を数えます。代表作であればご覧いただく機会も多くなりますが、その陰で展示される回数が少なかった作品もあります。展覧会出品歴のない作品、若書きの作品、形状により頻繁に展示することが難しい作品など。

今回、これまで日の目を見る機会が限られていた作品にスポットを当て、シリーズで紹介します。肩肘張らない率意の作であったり、書風を確立する前の過渡期の書きぶりであったりと、時々生まれた作品たちの晴れ舞台をご覧ください。

上條信山記念展示室展示作品

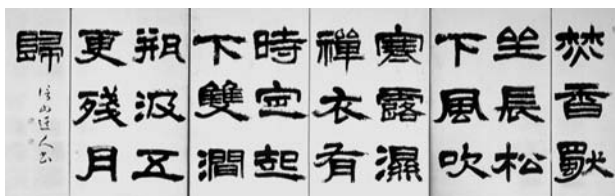
No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	主要展覧会
1	山 光		34.0×66.5	
2	心 月		67.8×69.2	
3	迎 風		136.5×69.4	
4	大 象 無 形		68.9×69.2	
5	欲		63.6×63.6	毎日現代書展
6	真山民詩一節	昭和55年 (1980)	116.8×34.8	第4回書象女流展
7	日 々 好 日		69.2×69.2	
8	飛 雲	昭和56年 (1981)	135.0×70.0	第25回朝日二十人展
9	陸 游 詩 「楼上醉歌」	昭和55年 (1980)	65.8×65.8	
10	敬		67.9×67.8	
11	臨 張 猛 龍 碑		69.8×33.8	
12	心 豪		52.8×90.5	
13	無 為	昭和59年 (1984)	111.5×69.0	改組第16回日展
14	山川終不老	昭和52年 (1977)	140.0×34.5	謙慎同人展
15	橋本登美三郎先生 顕彰碑(拓本)	昭和41年 (1966)	47.2×146.4	
16	大智禪師偈頌		98.0×309.0	
17	蓬 生 麻 中 不 扶 而 直	昭和56年 (1981)	各234.8×67.6	第43回謙慎展
18	素性法師のうた		136.5×34.3	
19	戴 叔 倫 詩 「三 閭 廟」		135.5×22.2	



日々好日



飛雲



大智禪師偈頌

— 本格的の輝き —

第36回 読売書法展

【東京展 会期・会場】

- ① 8月23日(金)～9月1日(日) 国立新美術館 (東京・六本木)
- ② 8月23日(金)～29日(木) 東京都美術館 (東京・上野公園)

常任理事・企画委員

田中節山



常任理事
企画委員・執行委員・東京展実行委員長代行・特別賞選考委員

市澤静山



(東京都美術館展示作品)



(国立新美術館出品作品)

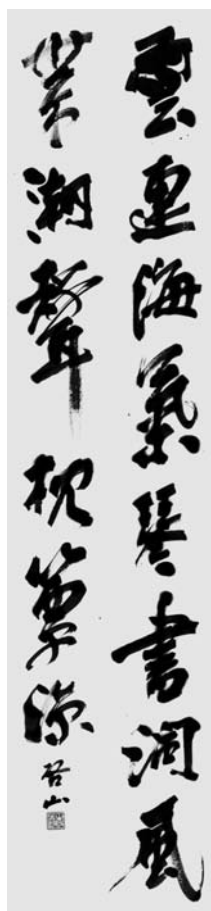
市澤静山

常任理事・東京展副実行委員長



内藤望山

理事・本年度審査員



山口啓山

理事・本年度審査員



鈴木春鳳

理事・本年度審査員



杉山暁雲

読売新聞社賞

仲島 秀峰

不機而塘路合知第五橋名園依绿水野竹上青霞
深泉月是松平生為幽與玉階馬蹄 這萬里成王千何年
明月更黑前乘絕域信曼巨清池漢使往空到 碧農竟不
知露翻 並雨打開秋 新遊路 狂狂野鹿泉水響
秀峰

読売俊英賞

都 所 影 花

蒼々落月時多影 私溪水綠深轉深幽共何何已
紫清澹不流全碧必可治迎晨令東華 狂注
了相海改石復 然水弄 涼情
不登日下川上雲 涼亭
之身乞 哀也 治令 去及 散天

読売俊英賞

針 原 伯 翠

年于即老之宅中宴會也于時初春今月氣淑風和梅投鏡前之粉蘭葉珠履之香
加以賭嶺移空松掛羅而傾蓋夕油結霧鳥封穀西送林庭舞新蝶空轉故扇於是
蓋天生地促勝飛觴忘音一室之哀聞於煙霞之外漠然自放快然自足若非翰苑
何以提情詩紀落梅之篇古今夫何異矣宜賦園梅聊成桂詠 伯翠書

読売奨励賞

田 中 紫 花

秋潭雲海
紫花

読売奨励賞

畔 原 小 霞

帆前送日四天無長柳雲濤接
異區不以盈虛隨海月直於伯
仲見江湖澄鮮空水通禪觀浩
蕩煙波混釣徒莫道行吟惟澤
畔采華幽興未能孤 小霞書

読売奨励賞

橋 本 桂 雪

暑の夏の日下り遠は空のなを食べ物を探し
はせとと家に運んてまアそんなア下り遠を見
キリガリ又遠は大笑の食べ物なして焚くも有
じなふかやあおれおうせ踊らうせキリガリ又遠は涼
く不隠て毎日染しく遊していましたるがおれよう 桂雪

秀逸

香刹象天界名僧辭世矣一俸猶法劑衆靈相氣靈作種
向金仙宰林鶴羣華山丈術人衣帝主選陞華一持時春白卷
林亭蕩餘隱蒼然羊木氣盡濕西江雲警聞見千星妙
惟落海濱山鐘忽播蕩應山性音聞林陽得引秀

渋谷静秀

秀逸

大布建祀提乾薪起火紅薄才施吹欲教母教兒童羊要為着
枝鷄當和飛龍農家自堪樂不子徵王公諸孫晚小學警
鹿魂周祈立笑藏釣松亭言關羊鹿舞麻負程課翁愛
市館錫石責會年期汝化年月日新 後因時堂印

富田童柳

秀逸

胡騎漢京官軍推賊塚磨魚船似急穴珠欲何逃喉殿羅玄竟棘門點白松素小當
警蹕漢乾入旌旆路夫羊陽陰雲積堆尾高五原空壁壘八水散風清今日着天泉遊
泥貨西曹色降那更得曲謀吳越唐元帥歸龍種司空羅和都尉軍蘇武節左持呂
履刀兵氣回飛鳥成聲沒巨盤弋徒聞雪色弓矢白秋風夫步路方盡時和運史
羅誰之遠去登乙足沃羅原寄想丹旆近神行四衛軍 節歸少後時引秀

長田詠李

秀逸

此八蘇之トレテ又無ク又屠トレテ木多レ群龍朝ニ酒ナリ君空谷ニ何高ントスル走
和スレモノ寐キハ無深ケレバナリ道知ラレ難キハ行フコト猶ケレバナリ院ア石エノ浪來ト
松門ノ草屋トラ堂中ニ入テ獨ク養ヒ山頭ニエツテ獨ク抱ク神兼ク與ヘテ瓜ノ如ク
鹿香ク貢テテ穀ク收ム不才ノ賢ク切アレク院テ既ニ先クテ採テ賞レテ嫌フ苦テ
印ヲ解キ初從ハレ何ノ處キニトスベクシ人ノ心ニ歸レテ送ル歌 後因時堂

藤井懐花

秀逸

羊也群々春与曠利仁物北而而乃知漸之為依何事認得
張家款以替牛 油陽垣上新嶺日長夏門前改善並過酒
印沾身建脚款七年北地能開入村者汗能榮似雪行人不辭
為誰酒殺道小縣處州府引我辰新 初一秋 陽光

古川琇光

秀逸

萬國春風
百花舞

福田高苑

送客蒼溪縣山寒而不
間直整騎馬滑如作放
舟迴青階峰出過黃知
橋袖來江派大自在坐
穩興態或似草嫩瓜岸
危橋指夜舟星垂平空
明月湧大江浪台堂文
章若官廳先病休歎
何所似天地一沙鷗

伊藤西光

小林皓山

秀逸

とて笑うて立つ浪風の
荒所 節義程公は
如何 一こんが船り海
一か引潮天よりと並
酒に探りて道かに並
弓を敵に渡へていの上
物と波間にうたは船引に
泳み泳がで船船をかく
浪小舟より船をんりて
敵は見るより船をさす
くす取りの打ちかゝるは
已に危うく見えたりか
直にくす手より和りか
道は舟より時年より
元山海に上かゝる能う
とて笑うて立つ浪風の

秀逸

令和元年度 子供のためのワークショップ

「団扇（うちわ）に書いてみよう」

書象展会期中の六月十六日（日）と二十

二日（土）、国立新美術館三階研修室において、標記イベントが開催されました。親子連れが参加し、思い思いに好きな字を書いて後は、消しゴム印のあるテーブルに移動して、干支や花や名前の一文字を押ししたりして楽しんでいました。自分だけの団扇が出来て嬉しそうな笑顔が印象的でした。



会場には多くの参加者が



どの消しゴム印を押そうか？



団扇に消しゴム印を押して完成！

とてもたのしかった

有象会支部 年長 ひろせ わかば

わたしは、「なつ」とかきました。まだおしゅうじをはじめたばかりなので、おかあさんにちょっとだけつだってもらいました。なまえはひとりでかきました。そして、かわいいうさぎのはんこをおしました。

「なつ」らしいうちわができました。とてもたのしかったので、またやりたいです。

団扇をプレゼントに

この葉支部 中一 瀬戸 康汰

書象展は初めて参観、もちろん団扇作りも初参加です。その前に自分の学生展の作品の講評をお聞きし、文字の大きさやバランスについて教えて頂きました。これからの課題も見つかり、来年も頑張ろうと思いました。

さて、団扇作りです。書く文字は悩みながらも、日本らしい「古都」という文字を選びました。理由は、今年の夏にオーストラリアにホームステイに行くので、プレゼントにして「書道」や「団扇」という日本の文化を知ってもらいたかったからです。今回ご指導頂いた先生方、ありがとうございました。

貴重な経験

和支部 中三 高橋 胡桃

今回、書象展に行き「うちわ作り」を体験しました。とても良い経験になったと思います。うちに好きな字を書くというものですが、私は受験生なので、自分を奮い立たせるような言葉を書きました。また、仕上げに消しゴム印を押しました。スタンプを押したことにより字が一段と際立ち、満足のいくうちわに仕上がりました。貴重な経験ができました。ありがとうございました。



武藤 結香 (華雪)



安原 莉夏 (聖徳大附女高)

信山先生記念賞

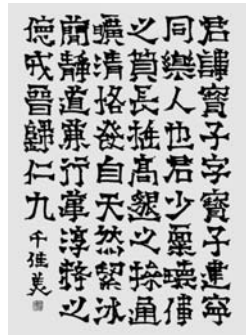
第50回

全国学生書道展

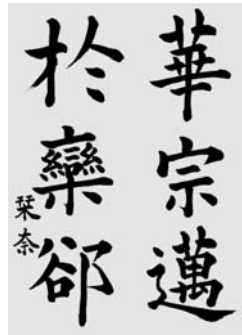
優秀作品の発表



新井 凜 (田園調布雙葉高)



角田千佳美 (丸子修学館高)



小山 栞奈 (上田染谷丘高)

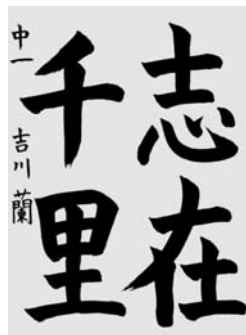


平井 綾音 (聖徳大附女高)

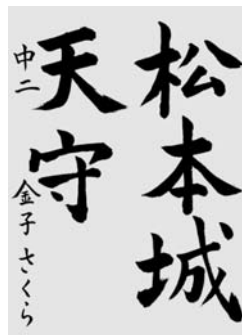
日本書道芸術協会大賞



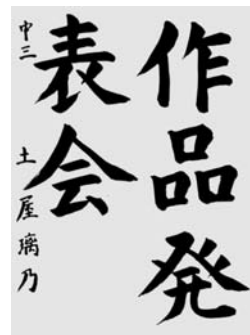
西 由乃 (練馬)



吉川 蘭 (玄黙)



金子さくら (李光)



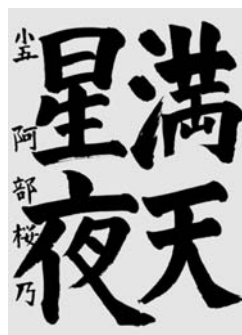
土屋 璃乃 (若竹)



廣瀬 楓 (有象会)



進 美優 (富貴会)



阿部 桜乃 (大象会)



古内亜香里 (八潮)

第50回全国学生書道展特集

受賞者の喜びの声

(学年は、出品時のものです)

第50回全国学生書道展を終えて

学生展担当 江上玄光

長らく誌上展として運営していた学生展ですが、今年度から国立新美術館で書象展と同時開催となりました。そのため作品募集の時期を変更するとともに、展示の充実を図りました。

様々な変更をお願いしたなかでの開催でしたが、今年も多く清々しい力作が集まりました。ご協力いただいた先生方、出品者の皆さんに心より感謝申し上げます。

初めて開催した表彰式には、予想を超える人数の受賞者と家族の方々にお集まりいただき、たくさんの喜びの笑顔に触れることができました。また壁面展示作品を増やしました。書展会場に入る前に学生作品が見える壁面にも展示をしたことで、例年以上に多くのお客さんの関心を集め、見ていただくことができました。

応募作品は、一点一画に集中し、思いを込めて書く姿勢が伝わってくるものばかりでした。位置・大きさ・字形に留意し、名前も含めて作品としてまとめられたもの、自分を出し切って表現された作品が上位に選ばれました。高校生や大学生の作品では、臨書学習の成果が発揮されました。

来年も今年同様、六月の書象展との同時開催を予定し、一層の内容の充実を目指してまいります。どうぞご期待ください。

信山先生記念賞



書に挑戦していきたい！
聖徳大学附属女子高
高三 安原 梨夏

この度はこのような素晴らしい賞を頂き大変

嬉しく思います。ご指導して下さった先生方をはじめ、支えてくださった両親や友人に感謝したいと思います。

この受賞を励みにし、様々な書に挑戦しこれからも書に真面目に向き合い、取り組んでいきたいと思えます。



喜びと感謝
華雪支部
中二 武藤 結香

この度は、このような素晴らしい賞を頂くことができ、とても嬉しく思います。先生のご指導のおかげで受賞することができました。ありがとうございました。

日本書道芸術協会大賞



受賞の喜び
上田染谷丘高
高二 小山 栞奈

文字の太さや全体のバランスをとるのに苦勞しましたが、満足する作品に仕上がりました。このような素晴らしい賞を受賞でき、大きな喜びを感じています。



大賞をいただいて
丸子修学館高
高二 角田千佳美

「大賞」という素晴らしい賞をいただいて、とても嬉しく思います。今までご指導いただいた先生方や周りの方に感謝し、今後も更に精進して参ります。



大きな励み！
田園調布雙葉高
高一 新井 凜

書に向き合う時は言葉の意味を理解し自己表現すること意識しています。この度はこのような賞の受賞によりさらに頑張ろうと大きな励みになりました。



感謝
李光支部
中二 金子さくら

今回は大賞を頂けてとても嬉しいです。この賞を頂けたのは、日頃丁寧に指導して下さる先生のおかげです。これからも良い字が書けるように頑張ります。



先生が大喜び！
玄黙支部
中一 吉川 蘭

私がこの賞を頂いて一番嬉しかったことは、なにより先生が大喜びしてくださったことです。小学校一年生から楽しく続けて来られたことを幸せに思います。



努力
練馬支部
小六 西 由乃

今回は大賞を頂くことができ、とても嬉しく思います。指導して下さった先生、ありがとうございました。賞を頂いたことを糧にし、今後も努力し続けます。



うれしい
八潮支部
小五 古内亜香里

夢のまた夢だと思っていた大賞をとれてうれしかったです。これからも努力を続けて、信山先生記念賞をとるような気持ちでがんばっていきましょう。



初めての
大賞
大衆会支部
小五 阿部 桜乃

書道始めて三年が経ち、初めて学生書道展に出品しました。今回、大賞を受賞することができ、喜びでいっぱいです。今後も高みを目指し、頑張ります。



やったー！！
富貴会支部
小四 進 美優

令和という新しい年に、大賞を頂き大変嬉しいです。これからも、更に努力をして大好きな書道を頑張ります。壺監先生、ご指導ありがとうございました。



うれしい
有象会支部
小二 廣瀬 楓

大賞という素晴らしい賞をいただくことができ、とてもうれいです。表彰式は初めてだったので、ドキドキしましたが、これからも書道がんばろうと思えました。

特待生紹介

(学年は試験合格時のものです。)



集大成

土筆支部 中三

梅林駿介

小学校一年生の時、初めて筆を握った。最初は文字を書くのが楽しかったけれど最近あまり興味はなかった。そんな時でも支えてくれた先生や続けさせてくれた親がいて二冠を達成することができ感謝の気持ち一杯です。

支部長先生より一言 小一から中三まで長い道のりでした。部活や受験勉強と忙しい中、二冠を達成でき本当におめでとう。

特待生になって

右文支部 中三

小山優芽

私は小学三年生から書道を始め、七年間続けてきました。こんなに長く続けられたのは毎回熱心に指導してくださる先生のおかげです。これからは今まで習ってきたことを活かしていきたいと思います。

支部長先生より一言 特待生合格おめでとう。丁寧な字を書く優芽ちゃん。念願の高校にも入学する事ができ良かったですね。

特待生合格

右文支部 中三

古河純怜

私は、保育園からお母さんがやっている書道教室で習字を習っていました。だから特待生に合格することができてとても嬉しいです。硬筆も特待生に合格できるように頑張ります。

支部長先生より一言 部活で忙しい中、長年続けてきたおかげで特待生合格おめでとう。今後は硬筆も合格目指そうね。



特待生になって

美業支部 中二

長門佐桜

私は、小学一年生から書道を始め、夢だった特待生になることが出来ました。硬筆はあまり得意としていなかったのでも嬉しく思います。次は毛筆の特待生を目指していこうと思います。

支部長先生より一言 特待生合格おめでとう。孫弟子第一号の佐桜ちゃんです。身心共に成長、とても嬉しいです。

目標達成

北府支部 中二

杉本淳真

僕は、保育園の頃から書道を始めました。初めは全然上手く書けなかったけど、先生のていねいな教えにより目標であった特待生になることができました。これからも頑張ります。

支部長先生より一言 合格おめでとうございます。中学受験後も頑張ってください。毛筆も期待しています。

変化を楽しむ

神奈川支部 中三

小川 牙京

二冠を達成することができてとても嬉しいです。書道を始めたころの字と今の字を比べると、学んだことがその都度自分の字に表れている事が分かりました。これからは変化を楽しみ、自らの字を形作っていました。

支部長先生より一言 書く事、表現する事が大好きな牙京さん二冠達成おめでとう。これからも一緒に学んでいきましょう。



続けてよかった

有象虹支部 中三

大野 悠紗

私は小学一年生から習い始めやっと毛筆で特待生になることが出来嬉しいです。目標の特待生を目指し途中何度か諦めようかと思いましたが何とか今まで続けることが出来ました。次は硬筆を目指して頑張ります。

支部長先生より一言 「継続は力なり」おめでとう。日々努力の結果です。更なる飛躍、期待しています。頑張ってください。

二冠達成!!

有象虹支部 中二

伊藤 真緒

今回、毛筆に続き硬筆も特待生になることが出来とても嬉しいです。硬筆は毛筆よりも苦手で不安でしたが、今まで頑張ってきた良かったです。もっと字が上達出来るようにこれからも努力していきたいです。

支部長先生より一言 おめでとう。勉強、部活と大変な中、頑張りました。ご家族、回りの方々への感謝の気持ちも忘れずに。

書道って楽しい

神奈川支部 中三

内野 晴菜

小学校一年生から続けてきた書道で、特待生になることができてとても嬉しいです。私はこの九年間で、伸び伸びと文字を書くことの楽しさを知りました。ご指導して下さった先生には、感謝の気持ちでいっぱいです。

支部長先生より一言 筆を右に持ち替える困難を乗り越え目標達成、おめでとう。高校生活でも挑戦と努力を続けて下さい。

少年少女のページ 「わたしの会の仲間達」

霞墨支部 小四 小林 茉白



おとなしい性格ですが、集中力のすばらしさは、大人以上です。点一つ、線一本にも細かく気を配り書く姿は、すばらしいですよ。将来が楽しみです。

霞墨支部 中二 高 貫 珠 大



落ち着いています。礼儀正しく、「はいっ!」というしっかりとした声で、教室に響くと、皆も気持ちひきまわります。野球部でも頑張っています。

霞墨支部 小二 嶋 田 千咲緒



やさしい心をもっています。バレエもやっています、静かさの中にもしっかりとした力を常にもっています。将来は美しい白鳥になると思っていますよ。

霞墨支部 小三 板 橋 大 翔



スマイルングのあとに、教室にきます。疲れていると思うのですが、しっかりと、時間をかけてかきます。手本もよくみてかいています。すばらしいよ。

霞墨支部 小六 萩 島 舞 依



ていねいに、時間をかけて書く姿は立派です。手本もよくみていて、ハンドボールをやっているためか、半紙にピタリとおさまります。この調子ですよ。

溪月支部 小六 河 野 結梨奈



明るい性格で活発な結梨奈さんは、塾の人気者です。また、ピアノが得意で、将来の夢は先生になること。毛筆、硬筆もめきめき上達中です。

溪月支部 小六 庄 田 実 由



小さい子のお世話をさりげなく行う、優しいお姉さん。納得のいくまで質問して、じっくり書き上げます。半紙より、大切に思いっきり書く方が好きです。

蔵支部 小六 丸 山 真 歩



左ききのハンディにもめげず、力強い線でも大きな字が得意。体の弱なお母さんに代わり、おばあちゃんのお手伝いをしています。頑張りノ真歩ちゃん。

上尾支部 小四 古 澤 梨 音



明るく真面目にお稽古に取り組み、ピアノ、スマイルングも頑張っています。体育も大好きノ学生展で書象賞を取得。心よりお目出とう。この調子で前進ノ

源創支部 小五 柳 本 海 利



ゆったりとした気持ちで、集中して取り組むので、元気ないい字が書けるようになりました。算数を得意とし、短距離走もクラスでは、一番速いです。

一葉支部 小三 大 野 育 実



絵を描いたり、工作が大好き。物語を作って自分で演じることも大得意。お習字も、いつも元気に早く来て、たくさん練習するのでとても上達します。

一葉支部 小四 皆 川 環



しゅみは工作。新校そうも習っている。学校の書初めで三年に引き続き四年でも選ばれたいと頑張っている。遅い時間に来てでも根気強く練習出来ます。



△漢字条幅▽ 評 内藤 望山

壺玉 腕法の用筆よし。線よく

暢び殿しい。

暁道 逆筆がよく効いて強くし

かも深い快作。

禾苑 手本に忠実な作。形体、

全体感共によし。

天遥 同圧度で統一した線条は

明るく美しい。

溥仙 線の味わいが深い。横画

の統一美が光る。

貞月 中鋒の線質で落ち着いた

作。捻筆が効果的。

溥山 形体把握よし。字間の統

一がよい努力作。

孝子 文字の懐が広く雄大な筆

致で楽しい。

△条幅随意▽ 評 西野 江月

小暮静翠 十分な含墨で豊かな運筆、

躍動感あり。

宿谷硯心 潤渴の妙あり、明るく軽

快にできた。

遠藤翠雅 正確な用筆で文字に流れ

あり。変化の妙。

△通信条幅▽ 評 大澤 梢光

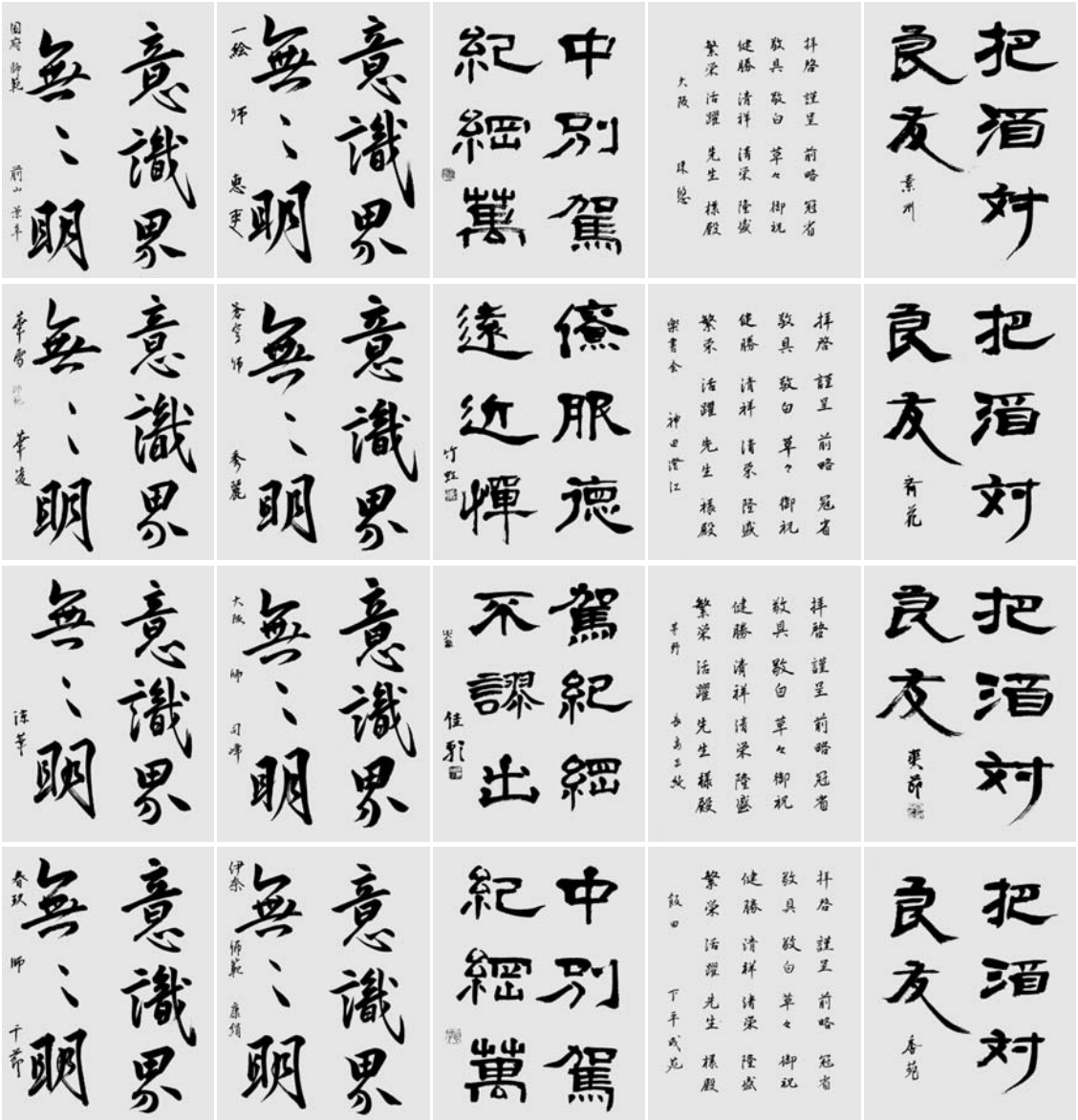
藤井静素 基本点画に忠実な表現で

余白美が生きた。

市ノ瀬素州 自由闊達、瀟洒な作。

島田壺峰 文字の大きさ位置が適切

で全体観佳。



基本課題

評 成瀬 惠苑

素州 輕快逆筆法の筆致で極めて爽快な作。
 齊花 同任同速を基本に運筆して安定感がある。
 爽節 横画がよく暢び隸意豊かな作品で楽しい。
 香苑 形体に注意しながら全体感よくまとめた。

研究課題

評 江上 玄光

珠、悠 筆の穂先を利かせた軽妙な線。形良し。
 神田澄江 ゆったりした線で小ぶりだが明るい作。
 長島正純 一字一字の形よく運筆も変化に富む作。
 下平成苑 手本をよく研究し丁寧な書かれている。

古典課題

評 内藤 望山

穆舟 原帖の形体を正しく捉えた抜群の秀作。
 竹虹 形と線に主観を加えた楽しい表現である。
 佳影 小振りながら線の響き合い充実して光る。
 葉草 左右の払い等、用筆の素晴らしい努力の作。

師範部

〈行書〉

評 小室 墨汀

菊地恵爽 潤濁の線が冴え、形の美しい秀作。
 中田秀麗 基本に忠実で丁寧な仕上げ。結体確か。
 松田司峰 伸びやかで澄み切った線。余白美佳。
 浅見康絹 スピード感あり、全体の布置秀逸な作。
 前山景草 潤いを持ちながら気脈筆脈見事。
 小島華凌 基本に忠実で丁寧な仕上げ。安定感佳。
 大形涼華 筆脈良く通り形も安定した明るい作。
 姫野千節 運筆、腕法良く、錬度の高い清冽な作。



折笠琴羽 穏やかな雰囲気漂う端正な書きぶり。

近藤静志 運筆良く形の美しい落ち着いた作。

川島映雪 端正で沈着き漂う聡明な作。形線良し。

林田翠山 弾力の効いた線で躍動感に富む秀作。

豊島月性 穏やかで誠実な書き振りが佳。鍊度高。

青柳緑水 遅速緩急をつけた多彩な表現が印象的。

麻生礼子 腕の動き良く墨量充分な気骨作。

高平光紗 行意良く整い余白美しい格調高い作。

△仮名▽ 評 杉山 曉雲

井上雅幸 控えめな墨量で筆圧の変化による表現。

森 真花 余白のまとめが美しく色紙名品の様相。

佐藤江蕙 行立てが整い沈着な美しさが光る。

杉本純華 随所に渴筆の美しい線を見せ楽しい。

大形涼華 仮名の基本に則り澄み切った線が美しい。

三河茫苑 紙面構成が巧みな中に大小長短が楽しい。

佐藤茜沙 上句、下句の収束が見事なハーモニー。

金澤瑠月 筆を立てて書く、この鉄則が守られた。

塚原花瑤 太細の変化を繊細に折り込み美しい作。

伊里草竹 力強くグイグイ書かれる爽快な表現見事。

平岡想花 書に対する謙虚な姿勢が感じられる秀作。

高橋太一 持てる限りの変化技を繰り出して大胆。

中三 高瀬友理 転機	小二 とみ井り沙 すふいん	四年 菊地音乃 よ海水く水	小六 優心 な平和朝	中二 飯田怜奈 夏休み日記
小六 阿部桜乃 成長	小三 下田ひると すふいん	上尾小四 結月 よ海水く水	小六 三枝 節尾 結月 な平和朝	中二 松宮駿太 夏休み日記
小四 宝田来瞳 南	小一 おおうちまな あさ	小三 前谷元稀 うろこ雲	五年 宮川友花 花火の音	中一 特待生 中本美咲 お祭り広場
二年 桐生ことな 中	はじめゆり あさ	美々二年 吐日向子 うろこ雲	龍文 寧々々 花火の音	中一 美波 お祭り広場

学 生 部

評 小川 仙草

飯田怜奈 勢いある筆致で切れ味良く仕上がった。
 松宮駿太 どっしりした太い線で堂々とした作品。
 中本美咲 腕の動きが大きいのでびやかに書けた。
 八代美波 形を正確にしていねいに書けた作品。
 島村優心 緊張感のある線が全体を引きしめている。
 笹原あかり 大きき形ともきれいに整っている。
 宮川友花 点画が充実し、力強さあり佳作。
 今尾寧々 リズミカルな運筆でさわやかで明るい。
 菊地音乃 一生けんめいで一字一字きちんとかけた。
 猪俣結月 一点一画に心がこもり安定した作。
 前谷元稀 すっきりおだやかで形よくかけた。
 久村日向子 心をこめて集中してかけて大変よい。
 富井理沙 もじの形をよくまとめました。
 下田嘉斗 力づくしっかりしたせんでみごと。
 大内茉奈 ゆっくり、ていねいにかけた。
 羽島侑里 げんきよく、りっぱにかけた。

半紙 随意

評 蕪木 珠紅

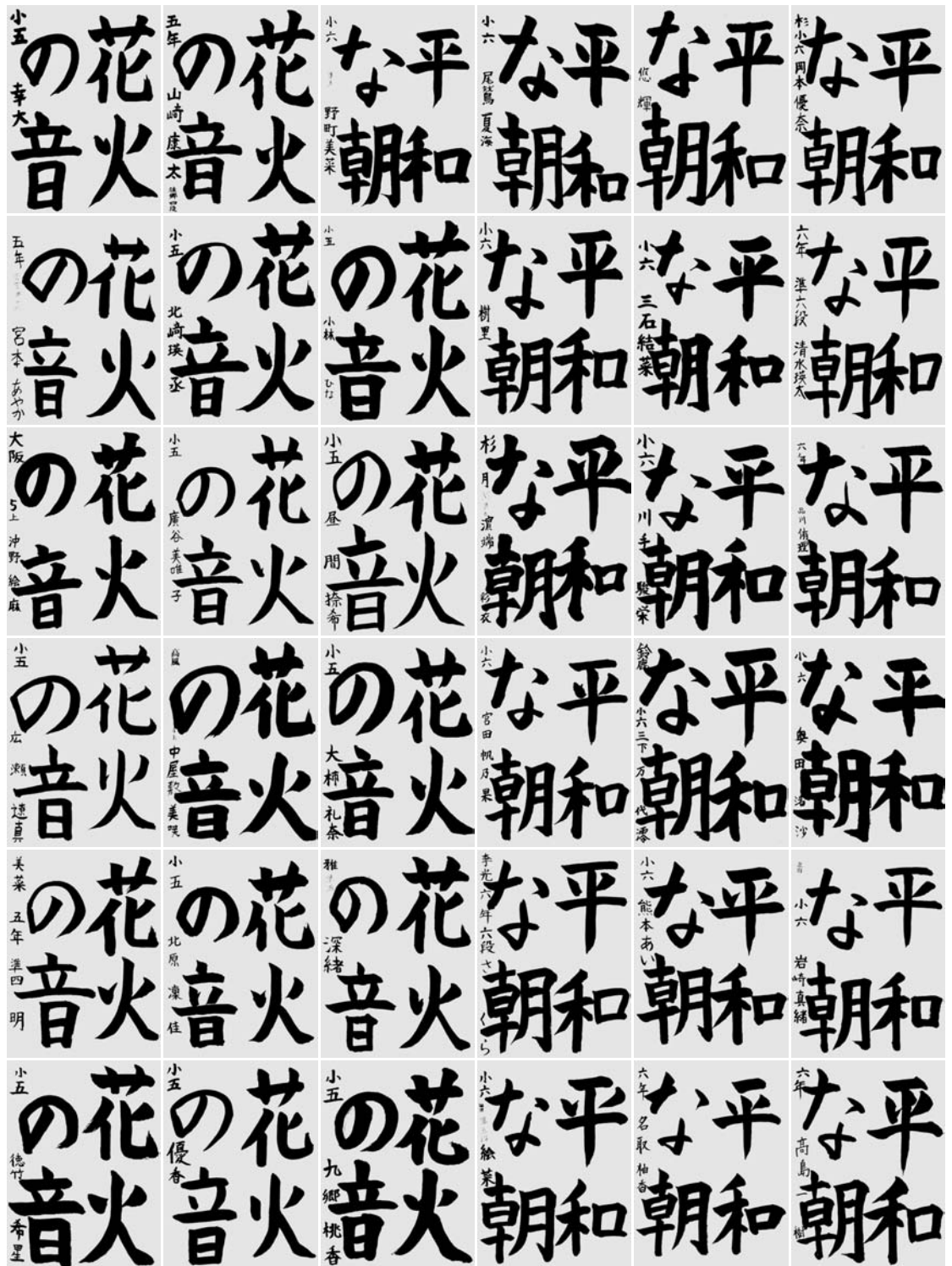
高瀬友理 ひきしまった線質で余白も美しい秀作。
 阿部桜乃 明るくのびのびとしたさわやかな作品。
 宝田来瞳 力強くどうどうとしてすばらしいです。
 桐生琴椰 しっかりしたふでづかいでりっぱです。

このページに掲載された人には書家会より記念の筆をさし上げます。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|------|----|----|----|-----|----|----|----|----|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 石峯 | 八潮 | 秀雪 | 高風 | (級位) | 富貴 | 柏芳 | 書集 | 竹友 | 杉南 | 八戸 | 倭心 | 柏島 | (段位) | 石峯 | 星安 | 杉浦 | ひま | 光丘 | 有徳 | 大阪 | 一葉 | 華雪 | 成城 | (級位) | 玄樸 | 長翠 | 文化 | 美生 | 四谷 | 皓花 | 大阪 | 倭心 | 八戸 | 玄樸 | この | 高風 | (段位) | 石峯 | 星安 | 杉浦 | ひま | 光丘 | 有徳 | 大阪 | 一葉 | 華雪 | 成城 | (級位) | 玄樸 | 長翠 | 文化 | 美生 | 四谷 | 皓花 | 大阪 | 倭心 | 八戸 | 玄樸 | この | 高風 | (段位) |
| 浦野 | 岩田 | 原田 | 清水 | | 宮崎 | 岸 | 平井 | 佐々木 | 長南 | 工藤 | 小田 | 飯島 | | 北野 | 安藤 | 杉浦 | 廣瀬 | 城田 | 大石 | 妹尾 | 吉浦 | 村田 | 中村 | | 加藤 | 中條 | 越谷 | 藤野 | 南野 | 落合 | 田中 | 後藤 | 沖真 | 望月 | 清田 | 唐川 | | 北野 | 安藤 | 杉浦 | 廣瀬 | 城田 | 大石 | 妹尾 | 吉浦 | 村田 | 中村 | | 加藤 | 中條 | 越谷 | 藤野 | 南野 | 落合 | 田中 | 後藤 | 沖真 | 望月 | 清田 | 唐川 | |
| 衣美 | 代子 | 彩夏 | 弘美 | | 久与 | 千秋 | 鶴子 | 玉袖 | 和光 | 昭舟 | 綵舟 | | | 勝将 | 香織 | 俊哉 | 真央 | 苑 | 睦美 | 碧夏 | 奈美 | 由美 | | 乃香 | 正祥 | 信行 | 晨窓 | 江文 | 理香 | 翔珠 | 和美 | 清光 | 晶子 | 哲子 | | 勝将 | 香織 | 俊哉 | 真央 | 苑 | 睦美 | 碧夏 | 奈美 | 由美 | | 乃香 | 正祥 | 信行 | 晨窓 | 江文 | 理香 | 翔珠 | 和美 | 清光 | 晶子 | 哲子 | | | | | |

<small>洋月 六年 吉江 直央</small> 平和朝 <small>小六 心味</small>	<small>中一 木村 陽菜</small> お祭り <small>小六 杏紀</small>	<small>中一 渡辺 結衣</small> お祭り <small>中一 理子</small>	<small>山二 長佐藤 舞果</small> 夏休み <small>中一 谷口 心音</small>	<small>中二 高橋 澄</small> 日記 <small>中三 齋藤 百花</small>	<small>中三 川口 雅香</small> 夏休み <small>中三 花乃</small>
<small>小六 吉川 歩</small> 平和朝 <small>小六 蓮見 なつ美</small>	<small>小六 奈良 希歩</small> 平和朝 <small>中一 沙織</small>	<small>中一 谷住 音</small> お祭り <small>中二 上原 彩聖</small>	<small>中二 特精生 池上 愛莉</small> 日記 <small>中一 岩村 芽依</small>	<small>中二 戸越 優花</small> 日記 <small>中二 珠湯</small>	<small>中二 梁 谷 莉奈</small> 日記 <small>中二 大地</small>
<small>小六 若葉</small> 平和朝 <small>六年 尾畑 祥之介</small>	<small>小六 真鍋 海</small> 平和朝 <small>中一 結音</small>	<small>中一 麻央</small> お祭り <small>中一 半田 里田 心美</small>	<small>中二 麗愛</small> 日記 <small>中二 大地</small>	<small>中二 大地</small> 日記 <small>中二 大地</small>	<small>中二 大地</small> 日記 <small>中二 大地</small>

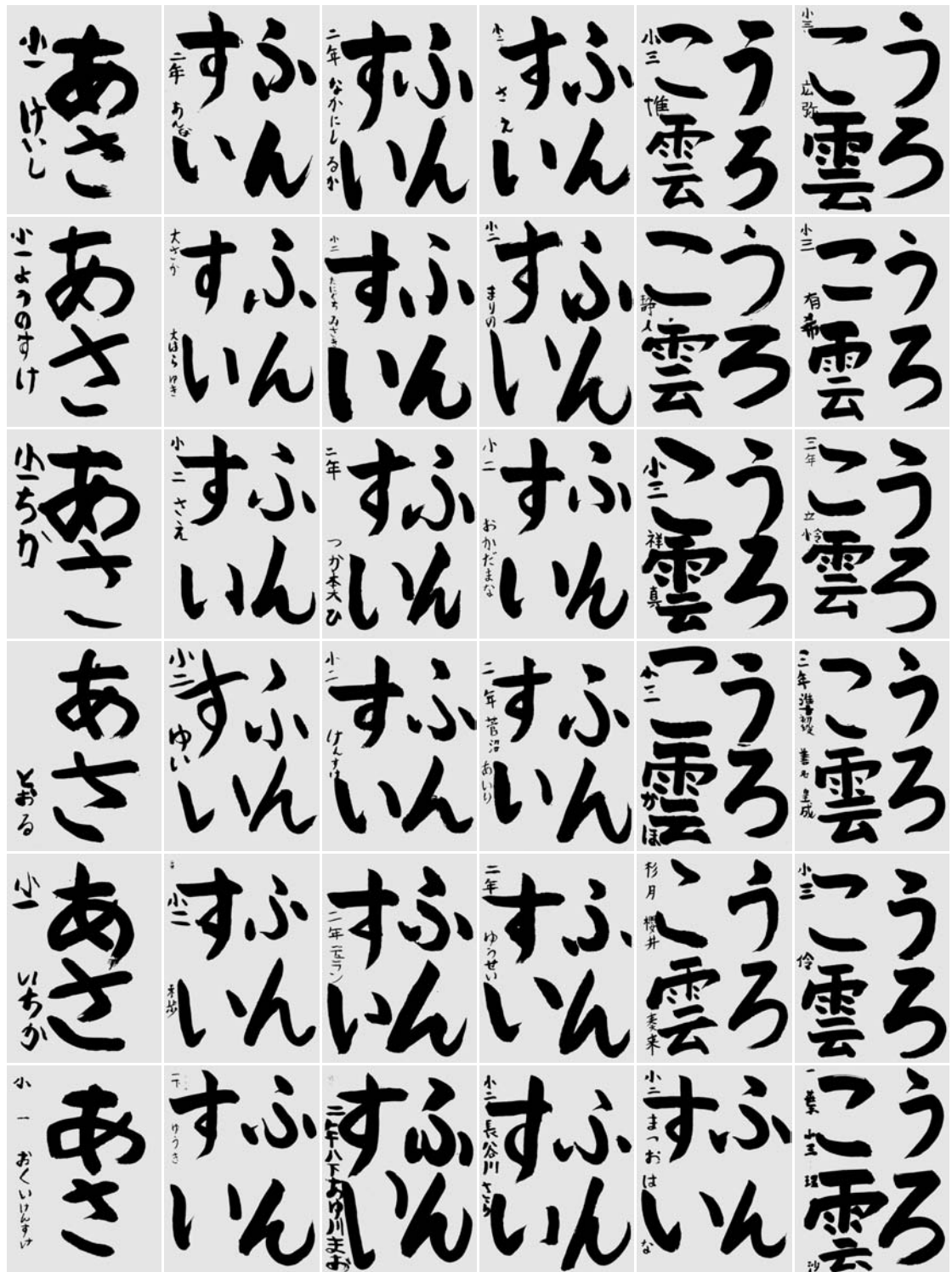
- 〔毛筆〕
- 〔中二・三〕
- 有象 川口 菜々香
 成城 石田 花乃
 名東 池上 愛莉
 華雪 戸越 優花
 玄黙 染谷 莉奈
 正桂 高橋 大地
 虹苑 高橋 澄
 大象 齋藤 百花
 高社 上原 彩聖
 皓花 岩村 芽依
 松戸 野山 琉海
 秀雪 大平 麗愛
 飯山 佐藤 舞果
- 〔中一〕
- 伊奈 谷口 心音
 秀雪 東 杏佳音
 名東 堀 開耶
 華雪 鳴原 麻央
 倭坂 宝田 心美
 須坂 滝澤 結衣
 正桂 池井 紗織
 宇土 松井 理子
 若宮 塩川 媛菜
 土筆 齊藤 大悟
 凜心 秋山 結音
 霞墨 木村 陽菜
 光丘 小林 杏紀
 竹華 蓮見 なつ美
 八潮 奈良 希歩
 大阪 真鍋 海
 星 高木 結衣
 溪月 吉江 直央
 硯扇 倉科 いさき
 中野 吉川 若葉
 サン 藤木 若葉
 高社 上野 かれん



高社 美菜 ひま 大阪 青雲 華雪 光丘 たけ 高風 玄黙 城彩 往郷 倭 雅 名東 中央 若竹 〔小五〕 倭 華雪 李光 玄黙 杉月 みな 霞墨 平成 秀雪 鈴鹿 名東 柏心 山愛 神奈 北府 練馬 硯花 皓花 杉
 徳竹 石原 廣瀬 沖野 宮本 鶴沼 三谷 北原 中屋敷 廣谷 北崎 山崎 康太 九郷 望月 大栴 昼間 小林 ひな 野町 田中 中川 宮田 瀨端 内田 尾鷲 名取 熊本 万代 川手 三石 悠輝 一樹 高島 岩崎 奥田 品川 清水 岡本 優奈
 希星 明 遠真 絵麻 幸大 優香 凜佳 美咲 唯子 桃香 深緒 礼奈 捺希 ひな 絵菜 乃果 彩衣 夏海 香

四年 三級 中本愛花 よ海水 よ海水	四年 咲希 よ海水 よ海水	小四 内山愛子 よ海水 よ海水	六上 まお の花の音 よ海水	小五 横田 恭成 の花の音 よ海水	小五 小高夢夏 の花の音 よ海水
小四 高森結萌 よ海水 よ海水	二葉小四 山内麻央 よ海水 よ海水	小四 小すけ 仁さ よ海水 よ海水	小四 悠音 よ海水 よ海水	五年 あかね の花の音 よ海水	小五 松本美羽 の花の音 よ海水
小三 幹太 こう雲 よ海水	小四 三沢拓実 よ海水 よ海水	仙台小四 淡木明 よ海水 よ海水	四年 十田 昌志 よ海水 よ海水	小五 谷合 心 の花の音 よ海水	大淀 淳二 小五 日崎 淳名 の花の音 よ海水
三年特2 花濃 こう雲 よ海水	小四 吉野麻奈 よ海水 よ海水	四年 矢谷 中め よ海水 よ海水	小四 佑太朗 よ海水 よ海水	小五 上毎田 侑希 の花の音 よ海水	小五 堀江 美来 の花の音 よ海水
小三 國隆 こう雲 よ海水	小四 未菜美 よ海水 よ海水	四年 五十川 瑠夏 よ海水 よ海水	小四 璃音 よ海水 よ海水	小五 大平 昊典 の花の音 よ海水	小五 宗介 の花の音 よ海水
小三 心優 こう雲 よ海水	五 轟五 ななせ よ海水 よ海水	小四 山縣 遥馬 よ海水 よ海水	小四 島田 琉花 よ海水 よ海水	小五 松尾 音空 の花の音 よ海水	小五 関根 璃音 の花の音 よ海水

華雪 秀雪 葉月 房風 玄黙 皓花 芙二 月 練馬 照澤 一葉 山愛 有穂 湊 この 仙台 宝春 秀雪 霞墨 華雪 光丘 美苑 若松 小四 美二 杉 練馬 一絵 山愛 茅野 八潮 玄樸 霞墨 大淀 硯扇 中野
 東海林心優 國松 下山 藤木 高森 中本 堀内 神崎 吉野 三沢 山内 松岡 山縣 五十川 矢谷 尾形 小菅 内山 島田 手島 倉内 吉岡 伊藤 河邊 松尾 大平 每田 坪井 小野 横根 関根 大印 堀江 田崎 松木 小高
 花音 花凛 幹太 結萌 愛花 七星 菜美 麻奈 拓実 麻央 咲希 通馬 瑠夏 結芽 洗太朗 仁紀 愛子 琉花 璃音 悠貴 昌宣 美来 宗介 美来 滯名 美羽 夢夏



花象	花蓮	龍文	光丘	和馬	練馬	【小一】	美二	華雪	光丘	中野	大阪	めぐ	皓花	硯	練馬	三池	志摩	大田	蔵	この	シ	霞墨	竹華	綾華	秀雪	【小二】	杉月	みな	名東	龍文	有虹	一葉	瑞祥	皓花	宮地	光丘	美墨
奥井	海野	小口	秋谷	飯箸鷹之介	藍原	京史	吉村	小林	蓮尾	東本	大原	宮崎	鮎川	櫻井デユラン	小緑	塚本	谷口	中西	長谷川	新澤	菅沼	岡田	木村	藤崎	松尾	櫻井	宮川	福岡	金子	高井	宮尾	善名	石地	風澤	山澤		
謙介	一華	透	千椛	京史	優来	未歩	結彩	紗英	有喜	按奈	芥央	謙介	大陽	美咲	瑠歌	優成	愛理	真奈	波奈	奏来	果歩	祥真	静人	理沙	惟	皇成	立伶	有希	廣弥								

稲をむすむま宮石をむりく沖渡つ
たに日舟列島に渡りて暮ら民族が
旧舟人の祖先であり開拓者である。
沖舟 沖舟小

「一期一会」は禅語で、出会った時が
別れの始まりを意味します。今
後の巡り合いを大切に。 船橋中三津屋
中山 稻葉

気象学者のウエゲナーは海
岸線のなぞに気づき大陸移
動説を唱えた。 神澤 安那

気象学者のウエゲナーは海
岸線のなぞに気づき大陸移
動説を唱えた。 大塚 椋智

夕方トランペットの音
色がどこからか聞こえ
てきました。 池谷 宣輝

夕方トランペットの音
色がどこからか聞こえ
てきました。 上運 天奏仁

お	い	し	そ	う	な	み	ト	ウ
り	ま	し	た	が				
り	ま	し	た	が				

稲をむすむま宮石をむりく沖渡つ
たに日舟列島に渡りて暮ら民族が
旧舟人の祖先であり開拓者である。
沖舟 沖舟小

「一期一会」は禅語で、出会った時が
別れの始まりを意味します。今
後の巡り合いを大切に。 中三 舞

気象学者のウエゲナーは海
岸線のなぞに気づき大陸移
動説を唱えた。 松尾 紗由季

気象学者のウエゲナーは海
岸線のなぞに気づき大陸移
動説を唱えた。 西村 行重

夕方トランペットの音
色がどこからか聞こえ
てきました。 小林 愛莉

夕方トランペットの音
色がどこからか聞こえ
てきました。 上運 天奏仁

お	い	し	そ	う	な	み	ト	ウ
り	ま	し	た	が				
り	ま	し	た	が				

爽やかという言葉は、一年中使われ
てくる秋の季語である。高温多湿
な夏が終り空は高く澄む。 文比野 敬
久美子

「一期一会」は禅語で、出会った時が
別れの始まりを意味します。今
後の巡り合いを大切に。 九山 道加

気象学者のウエゲナーは海
岸線のなぞに気づき大陸移
動説を唱えた。 平林 心羽

気象学者のウエゲナーは海
岸線のなぞに気づき大陸移
動説を唱えた。 成田 しおり

夕方トランペットの音
色がどこからか聞こえ
てきました。 山谷 仁香

夕方トランペットの音
色がどこからか聞こえ
てきました。 西澤 ましろ

お	い	し	そ	う	な	み	ト	ウ
り	ま	し	た	が				
り	ま	し	た	が				

「一期一会」は禅語で、出会った時が
別れの始まりを意味します。今
後の巡り合いを大切に。 伊奈 中二
和奏 博

気象学者のウエゲナーは海
岸線のなぞに気づき大陸移
動説を唱えた。 山元 志羽

気象学者のウエゲナーは海
岸線のなぞに気づき大陸移
動説を唱えた。 土井 和葉

夕方トランペットの音
色がどこからか聞こえ
てきました。 谷川 愛美

- (硬筆)
- 【一般】 神奈 山崎 憬泉
玄心 井上美佐子
文化 三藤久美子
 - 【中二・三】 伊奈 茂呂 和奏
船橋 内山 瑠菜
山愛 長谷川 舞
 - 【小一・二】 光丘 上運 天奏仁
 - 【小五・六】 希望 丸山 遥加
- 聖 サン 平林 心羽
 - 石 雅 山元 志羽
 - 松 神 志 安 那
 - 尾 神 志 安 那
 - 心 神 志 安 那
- 玄 土 井 和 葉
 - 有 大 塚 椋 智
 - 象 西 村 董
 - シ 成 田 し お り
 - 一 三
 - 華 雪
 - 池 谷 宣 輝
 - 谷 川 愛 美
 - 湊 小 林 愛 莉
 - 仙 山 谷 仁 香
 - 光 丘 上 運 天 奏 仁
 - 凛 泉 星 河
 - 龍 西 澤 ま し ろ
 - 久 西 澤 ま し ろ
 - 有 佐 野 桜 子
 - 穂 佐 野 陽 奏
 - 若 柳 澤 柚 羽

杉	杉	杉	大	富	柏	蒲	大	水	新	美	風	頤	高	土	中	李	さ	神	美	笠	笠	高	笠	四	若	野	綾	松	平	玄	静	玄	有				
森	淀	成	貴	心	田	阪	代	城	二	山	雲	風	高	筆	丘	野	光	龍	菜	原	原	風	原	松	松	松	松	松	松	松	松	静	玄	有			
友	喜	直	秀	靖	信	幾	詔	佳	珠	洋	紗	日	盛	久	高	和	咲	飛	政	春	京	桃	祥	齊	雅	文	麗	真	宏	主	主	主	主	主			
光	美	游	子	翠	子	久	玉	範	光	子	子	仁	お	り	月	美	依	梯	一	幸	子	子	星	千	子	扇	菜	惠	朋	香	月	子	子	子			
神	乙	八	美	東	白	茅	相	書	志	汀	備	巍	小	静	杉	菫	春	若	瀨	聖	石	志	玄	八	若	京	一	有	珠	若	青	美	長	玄			
奈	訓	南	苑	山	野	興	秀	集	秀	摩	松	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀		
秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀		
景	佳	希	沙	照	照	照	照	照	照	照	照	照	照	照	照	照	照	照	照	照	照	照	照	照	照	照	照	照	照	照	照	照	照	照	照		
泉	扇	紅	雪	え	節	道	志	暉	虹	月	香	子	コ	映	美	月	秀	思	静	庭	桐	子	節	一	花	竹	瑤	月	沙	苑	華	華	蕙	花	幸		
蒲	笠	照	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産		
田	原	澤	羅	吉	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀		
玲	泰	照	清	高	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞		
笙	仙	好	羊	苑	菖	景	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子		
八	歲	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南		
冬	梅	弘	美	和	芳	啓	眞	清	知	眞	昭	昭	祥	泰	梅	澄	美	香	久	碧	直	美	眞	冠	耕	典	文	征	禮	文	友	友	友	友			
雅	秀	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子		
伊	恭	翠	晨	霞	澄	松	李	静	杏	幸	静	給	詠	泰	桜	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成		
登	子	影	山	雪	舟	江	沙	節	静	静	静	静	静	静	静	静	静	静	静	静	静	静	静	静	静	静	静	静	静	静	静	静	静	静	静		
大	自	珠	磯	珠	麗	有	半	花	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞		
阪	産	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	
敬	か	葉	こ	珠	琴	穂	桂	景	恵	夕	雪	溪	妙	辰	辰	悠	色	澄	谿	社	晚	愛	紗	麗	美	節	節	千	節	有	玲	加	比	静	秀		
玉	春	る	草	杏	羽	波	翠	城	子	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞	霞		
水	代	新	若	北	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	
隆	敦	麻	佐	雪	華	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	錦	
雪	子	菜	子	川	子	山	香	映	春	一	峰	遠	山	香	華	妙	紅	紀	子	英	景	風	山	嶽	葉	静	静	静	静	静	静	静	静	静	静		
柏	瀨	心	戸	友	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	
華	竹	虔	瑞	壽	逕	蓮	楠	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	華	
峰	心	山	遥	月	月	舟	舟	凌	花	子	信	英	生	月	溪	春	美	月	風	紋	慧	聲	松	笠	静	芳	祥	里	愁	艸	涛	蕉	ね	苑	徑	風	
青	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲
竹	麻	純	良	津	禮	明	寿	紀	鈴	友	永	雅	信	初	和	典	邦	悠	弦	博	美	照	瑛	祥	韶	愛	流	整	彩	住	み	秀	汀	花	采		
虹	虹	彩	楓	楓	子	美	雅	子	華	美	翠	美	楓	楓	楓	楓	楓	楓	楓	楓	楓	楓	楓	楓	楓	楓	楓	楓	楓	楓	楓	楓	楓	楓	楓	楓	楓
天	五	翠	翠	秋	和	翠	テ	梓	薰	大	清	越	晴	摩	花	未	雪	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	智	
意	福	紗	雅	代	子	幸	子	虹	不	我	玄	山	美	紀	庭	央	眞	洲	悠	祥	月	節	舟	寿	花	幸	芳	鈴	峰	子	苑	雪	琴	志	紗	光	
青	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲
瑞	順	珠	滿	皓	皓	景	濤	濤	芝	明	雅	五	典	壺	窓	玲	我	彩	緑	李	晶	品	浄	柱	桂	壺	壺	夕	久	景	鶴	翔	孝	晚	陽		
竹	子	松	子	花	花	雲	山	花	華	桜	子	代	子	玉	眞	苑	窓	山	雲	風	里	雪	山	香	山	春	山	登	里	紅	子	草	仙	苑	子		
産	葉	杉	港	備	岡	玄	杉	照	松	伊	美	綾	高	土	高	土	高	土	高	土	高	土	高	土	高	土	高	土	高	土	高	土	高	土	高	土	
吉	月	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	
昭	晴	浩	憲	憲	憲	憲	憲	憲	憲	憲	憲	憲	憲	憲	憲	憲	憲	憲	憲	憲	憲	憲	憲	憲	憲	憲	憲	憲	憲	憲	憲	憲	憲	憲	憲	憲	
子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	
茅	房	野	風	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	
道	玉	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	

天重	藍明	安白	李瑋	容祥	韶愛	湖康	康康	康康	香泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰安	笠原	聖秀	若竹	小光	茜秀	蒼秀	玄秀	樺秀	玄樺	硯心	清里	美菜	静翠	静翠	高飯	飯田	岐森	樺里	上里	玄	
米子	花笛	夫羽	峯光	映泉	光泉	春仙	沙螢	窓窓	煌城	帛邦	舟淨	芸瑤	丹仙	秀麗	秀麗	秀麗	秀麗	秀麗	秀麗	秀麗	秀麗	秀麗	秀麗	秀麗	秀麗	秀麗	秀麗	秀麗	秀麗	秀麗	秀麗	秀麗	秀麗	秀麗
静幸	杏士	詠祥	李芳	澄翠	江幸	美霞	佐雨	西茜	恭綠	霞恭	尚溪	秀採	翠竹	典友	草陶	喜秋	和翠	寶西	西悠	景白	清標	祥光	隆陵	惠珠	瑛珠	明珠	瑛珠	瑛珠	瑛珠	瑛珠	瑛珠	瑛珠	瑛珠	
千静	靜鳳	李葉	葉葉	江山	茜泉	麗菖	美香	英草	影水	舟月	月月	庭花	桐心	子梅	竹華	春春	春春	春春	春春	春春	春春	春春	春春	春春	春春	春春	春春	春春	春春	春春	春春	春春	春春	春春
博美	照良	整映	映映	美武	泰壯	多喜	濤陽	壽壽	壽哲	遊靜	英景	景鶴	夕春	梗青	秋茫	高江	裕玲	静玲	静玲	静玲	静玲	静玲	静玲	静玲	静玲	静玲	静玲	静玲	静玲	静玲	静玲	静玲	静玲	
楓楓	鈴楓	子華	芳里	浩雄	一子	山松	香敬	星子	嘉雪	雪草	仙苑	紅海	月松	麗苑	苑靜	敬秀	花子	月心	惠翠	泉泉	映吟	峰靜	花信	靜華	唱靜	靜靜	靜靜	靜靜	靜靜	靜靜	靜靜	靜靜	靜靜	
美房	五風	玄皓	拍皓	玄玄	港南	房霧	松伊	樺森	笠信	笠信	笠信	笠信	笠信	笠信	笠信	笠信	笠信	笠信	笠信	笠信	笠信	笠信	笠信	笠信	笠信	笠信	笠信	笠信	笠信	笠信	笠信	笠信	笠信	
里壺	嶺羊	柚晶	燁香	皓我	景通	耀窓	窓窓	蕉玲	壺壺	壺壺	舒志	朝厚	康光	文小	佳久	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	
奈登	花里	香山	山琳	花山	光明	杏真心	苑窓	松裕	翠山	苑苑	水水	嶽嶽	蓮蓮	姬室	暎松	空虹	虹雪	彩竹	竹風	山風	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	
桂桂	桂桂	桂桂	桂桂	桂桂	桂桂	桂桂	桂桂	桂桂	桂桂	桂桂	桂桂	桂桂	桂桂	桂桂	桂桂	桂桂	桂桂	桂桂	桂桂	桂桂	桂桂	桂桂	桂桂	桂桂	桂桂	桂桂	桂桂	桂桂	桂桂	桂桂	桂桂	桂桂	桂桂	桂桂
翠耀	舞舞	富富	苑苑	香香	幸露	水慧	泉泉	峰峰	仙純	純峰	嶽嶽	山華	紅風	子華	我山	山山	花意	涛草	曉苑	雪峰	鈴芳	光光	光光	光光	光光	光光	光光	光光	光光	光光	光光	光光	光光	
白蘭	茜白	白足	土山	有山	有春	有春	小游	右文	若竹	葉月	葉月	葉月	葉月	葉月	葉月	葉月	葉月	葉月	葉月	葉月	葉月	葉月	葉月	葉月	葉月	葉月	葉月	葉月	葉月	葉月	葉月	葉月	葉月	
玉朋	静靜	照照	社愛	不節	京麗	比比	比比	比比	比比	比比	比比	比比	比比	比比	比比	比比	比比	比比	比比	比比	比比	比比	比比	比比	比比	比比	比比	比比	比比	比比	比比	比比	比比	
泉泉	素素	節節	陽山	麗同	真節	節節	節節	節節	節節	節節	節節	節節	節節	節節	節節	節節	節節	節節	節節	節節	節節	節節	節節	節節	節節	節節	節節	節節	節節	節節	節節	節節	節節	節節
映葉	有八	麗玄	磯湊	虹笠	大士	静巍	有錦	新芙	志志	磯大	石石	杉一	静乙	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八
映琴	花春	琴廣	葉皓	響泰	宗光	静麗	麗麗	錦錦	彩明	奏奏	凜彰	初秀	静京	京冬	晨辰	辰妙	汀翠	翠翠	翠翠	翠翠	翠翠	翠翠	翠翠	翠翠	翠翠	翠翠	翠翠	翠翠	翠翠	翠翠	翠翠	翠翠	翠翠	翠翠
祥三	庭光	羽峯	草山	柚心	蘭幸	雪吟	苑葉	香惠	風徑	玉月	泉光	成琴	仙雅	紅玉	仙雅	仙雅	仙雅	仙雅	仙雅	仙雅	仙雅	仙雅	仙雅	仙雅	仙雅	仙雅	仙雅	仙雅	仙雅	仙雅	仙雅	仙雅	仙雅	仙雅
白文	春茜	壽聖	珠虹	磯磯	書志	飯飯	城城	聖玄	聖玄	聖玄	聖玄	聖玄	聖玄	聖玄	聖玄	聖玄	聖玄	聖玄	聖玄	聖玄	聖玄	聖玄	聖玄	聖玄	聖玄	聖玄	聖玄	聖玄	聖玄	聖玄	聖玄	聖玄	聖玄	聖玄
照麗	紗麗	茜昭	璃知	尚葉	翳愛	雨露	汐成	貞真	惠惠	典典	芳芳	藍明	小由	董董	琴琴	明映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映
節爽	虹湖	沙子	子子	子子	采峰	鈴峰	畔香	苑翠	松美	由子	子子	葉葉	節節	美翠	翠翠	羽織	笛芳	花瑤	扇月	月華	葉葉	紗月	泉泉	華正	香映	代華	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	
京美	玄玄	サ愛	サ玄	花八	葉清	葉清	小游	瀨瀨	映映	若若	若若	若若	若若	若若	若若	若若	若若	若若	若若	若若	若若	若若	若若	若若	若若	若若	若若	若若	若若	若若	若若	若若	若若	
津英	章美	里直	久美	絵詠	四藤	春春	壺壺	真啓	芳琴	碧美	光小	友陶	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映
楓雪	敬砂	絵子	子子	舟舟	葉花	信水	子子	子子	三雲	子子	惠瑛	子子	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華
華雪	玄六	大泉	京都	大玄	大中	桐東	光丘	樺若	伊華	玄玄	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華
華小	柚香	美真	明絢	禮玻	勇珠	萌桂	涛秀	千裕	由香	星光	小文	優涼	素華	菜華	齊華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	
紋楓	香琳	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	
長小	巍聖	志文	玄樺	基基	若樺	美葉	紅游	志乙	大源	六六	華光	龍巍	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄
晃月	茜花	香齊	素素	本本	梗素	晨和	美涼	真玉	凜凜	ふ桃	華政	清清	小江	霞霞	伊陰	晴晴	恭康	翠西	美詳	敦翠	小美	松長	霞霞	泰泰	嘉嘉	嘉嘉	嘉嘉	嘉嘉	嘉嘉	嘉嘉	嘉嘉	嘉嘉	嘉嘉	
静峰	草瑤	苑節	花州	華風	英子	里華	美春	雲玉	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子
八華	花巍	飯飯	静長	倭野	巍大	大高	若飯	茅菜	大野	玄高	大若	信玄	飯靜	靜靜	長靜	高產	小產	小靜	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄
美華	弘貞	菁靜	静綠	佐霞	司麗	翠真	梗成	正澄	珠美	美美	麗麗	蕙蕙	梓大	玉壽	天美	靜靜	映映	静静	秋秋	木澄	芳秀	光統	小穆	汐汐	劍祥	秋秋	西貞	朴涼	蒼蒼	蒼蒼	蒼蒼	蒼蒼	蒼蒼	
里詠	安松	翠幸	澄水	美泉	峰香	桐志	紗苑	純江	悠悠	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	
花董	書房	集風	巍靜	長靜	長巍	飯飯	土若	サ大	玄聖	磯大	青玄	雲雲	雲雲	雲雲	雲雲	雲雲	雲雲	雲雲	雲雲	雲雲	雲雲	雲雲	雲雲	雲雲	雲雲	雲雲	雲雲	雲雲	雲雲	雲雲	雲雲	雲雲	雲雲	雲雲
翠翠	雨雨	翠霞	小霞	美小	静恭	静秀	杏静	佐佐	玉花	懂懂	直直	天天	葉葉	佳佳	竹竹	竹竹	竹竹	竹竹	竹竹	竹竹	竹竹	竹竹	竹竹	竹竹	竹竹	竹竹	竹竹	竹竹	竹竹	竹竹	竹竹	竹竹	竹竹	竹竹
花紗	虹翠	山草	葛子	舟麗	映秀	光信	峰靜	唱美	蘊光	仙光	玉子	遥瑶	草影	虹舟	道舟	幸志	英翠	絹美	香香	苑苑	月月	月月	月月	月月	月月	月月	月月	月月	月月	月月	月月	月月	月月	月月

Table of names and grades for '小・中学校の部' (Elementary and Junior High School Division). The table is organized into columns for different schools or groups, with names and their corresponding grades (e.g., 5, 4, 3, 2, 1) listed. Some names are followed by symbols like squares (□) or circles (○) indicating specific status. The table is divided into sections for '愛心支部' (Aikoin Branch), '飯山支部' (Iiyama Branch), '往郷支部' (Wakou Branch), and '華雪支部' (Kasetsu Branch).

□は写真版(昇級しない) ○は昇級(1階級昇級する) ☆は秀作(同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。)

Table with multiple columns and rows containing names, grades, and branch affiliations. Includes sub-sections like '神奈川支部', '久喜支部', '玄黙支部', '虹苑支部', '高社支部', '虹友支部', '玄樸支部', '玄嶽支部', '扇原支部', '玄樸支部', '玄黙支部', '虹苑支部', '皓花支部', '高社支部', '紅竹支部', '高風支部', '虹友支部', 'この葉支部', '桜木支部'.

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。

Table with 10 columns and 20 rows of Japanese text, likely a ranking or schedule table. The text includes names, numbers, and symbols like squares and circles.

□は写真版(昇級しない) ○は昇級(1階級昇級する) ☆は秀作(同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。)

Table with 10 columns and 20 rows of names and numbers. Columns represent different groups (e.g., 成城支部, 静翠支部, 石峯支部) and rows represent individuals. Each cell contains a name and a corresponding number or grade.

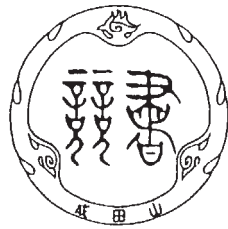
支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。

光ヶ丘・聖・心まわり・富貴・富士見・船橋・芙蓉第二・芙蓉第五・平成・宝春・房風会・星・松戸・水代・美苑・美菜・美那・漆・みなみ野・峰・宮川・宮地・雅・名東・めぐみ・杜の会・八潮・倭

Table with multiple columns and rows containing names and numbers. The table is organized into sections by region, with names listed in columns and numbers in rows. Some names are enclosed in boxes or have specific symbols next to them.

第36回 成田山全国競書大会

青少年に心の安らぎを与え、豊かな情操を養うことを願い



作品募集期間/ 令和 2 年1月25日～同31日

主催：成田山全国競書大会実行委員会
後援：中国書法家協会/中国大使館/読売新聞社

お問合せ **成田山全国競書大会実行委員会事務総局**
TEL 0476-24-2017(直通) FAX 0476-24-2084

ホームページ <http://www.naritasan-kyosho.jp>

書象会便り

◆読売書法展表彰式・祝賀懇親会

第36回読売書法展表彰式・祝賀懇親会が、去る八月二十四日(土)「ザ・プリンスパークタワー東京」で開催されました。正午からコンベンションホールにおいて全国各地から出席した読売大賞・準大賞(理事から選出)、読売新聞社賞・読売俊英賞(幹事から選出)、読売奨励賞(評議員から選出)、特選(会友・公募から選出)の各受賞者を対象として中央表彰式が、その後秀逸受賞者・入選者を対象とした東京展表彰式がそれぞれ開催されました。

この後十四時三十分からボールルームにおいて入選入賞者と役員など、出席者二千余名の盛大な祝賀懇親会がおこなわれました。本会からも多数の係・入賞入選者が出席しました。

《書展予告》

☆第44回玄墨展

会期 十月四日(金)～六日(日)
会場 山形県芸文会館

☆第69回杉並区総合文化祭 書道展

会期 十月四日(金)～八日(火)
会場 セシオン杉並
本会関係出品者 二十一名

☆第2回房風会書展

会期 十月十七日(木)～二十一日(月)
会場 富津市役所 一階ロビー

☆第12回葛飾現代書展

会期 十一月十六日(土)～二十二日(金)
会場 かつしかシンフォニーヒルズ二階
出品者 小川仙草 露崎玄峯(本会関係)

〈お知らせ〉

◆日本の書展 東京展公募臨書出品要項

受付期間 九月十七日(火)～十月二日(水)
展示 第48回「日本の書展」東京展 公募臨書
前期 二〇二〇年六月十一日(木)～十五日(月)
後期 二〇二〇年六月十七日(木)～二十一日(月)

なお、出品された作品は十二月に審査が行われ、二〇二〇年四月下旬に審査結果が通知されます。

※入選された会員(または支部長)は、本部(〇四二二一五三一九七四三)までご連絡下さい。

氏名	発行人 (有) 書象
	代表 上 條 節 夫
	東京都武蔵野市吉祥寺北町四一三二六
	郵便番号 180-0001 電話 〇四二二(五三)九七四三
	振替口座 〇〇一九〇一七二二五六九一
	振替名義 (有) 書象
	印刷所 株式会社 リンクス